

暮 ら し づ く り

令和 6 年度 目的別事業群総括管理（決算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	1 暮らしを支える拠点地区の充実
施策の将来の目標像	各拠点地区の役割に応じた機能が適正に配置され、様々な機能が集積される都市拠点を中心として、拠点間が相互に連携し合いながら、地域の生活・にぎわい・交流を支える拠点地区が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H30年度）	目標値（R6年度）
	居住誘導区域内の人口密度	西条・八本松・志和・高屋 50.1人/ha、 黒瀬 48.7人/ha、河内 16.2人/ha、 安芸津 23.3人/ha*住民基本台帳	西条・八本松・志和・高屋 52.0人/ha、 黒瀬 現状維持、河内 現状維持、 安芸津 現状維持*住民基本台帳
	空き家バンク登録件数	23件 *累計実績値	150件 *累計実績値

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 良好な市街地形成の推進	主管部局・所属	都市交通部 都市計画課
関係部局・所属	都市交通部	都市整備課	都市交通部 区画整理課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	都市の成長が持続され、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、各拠点地区の特性に応じて都市機能を集積するとともに、安全・安心な都市環境の形成により、良好な市街地の形成を図る。	現状	狭隘な道路や無秩序な開発など、安全・安心な都市環境が形成されていない。	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
市街地の防災・減災機能を向上させるインフラの整備が不十分		JR駅周辺のまちづくり	高	1
安全・安心な憩いの場が不足している		安全・安心な憩いの場となる公園づくり	中	2
無秩序な宅地化が進展している		拠点地区周辺の市街地整備の取組み	低	3
市街地において必要な生活機能の集約が図られていない		まちづくりに関する総合的な計画策定	低	4

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7		
(7) 市街地整備事業区域内人口(西条第二地区内の人口)	8,259 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	10,541	11,000	11,000	11,000 (R6)	人
			10,198	10,526		95.7%	
			96.7%	95.7%			
(4) 各拠点地区周辺の人 口(合計)	36,696 (H30)		39,532	40,124	40,725	43,870 (R12)	人
			39,906	40,495		92.3%	
			100.9%	100.9%			
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	R 年度	1,546,583		1,550,141		114,968千円
	5 年度	724,276		330,202		
	R 年度	2,070,878		1,631,245		
	6 年度	813,802		633,759		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	1・1・1 八本松駅前土地区画整理事業【特会】	区画整理課	5.84	808,720	690,844
				490,482	758,708
1-2	8・5・3 八本松駅前土地区画整理関連公共事業	区画整理課	3.37	243,360	439,002
				493,068	59,489
1-3	8・5・3 八本松駅前地区計画事業	区画整理課	1.46	199,538	114,038
				206,529	81,245
2-1	8・5・4 公園整備事業	都市整備課	3.00	180,600	636,128
				210,096	609,804
3-1	8・5・5 西条第二地区地区計画整備事業	都市整備課	2.37	79,180	157,720
				117,886	118,679
4-1	8・5・1 都市計画推進事業	都市計画課	1.98	35,185	33,146
				32,080	3,320
合計			18.02	1,546,583	2,070,878
				1,550,141	1,631,245

7 R6事業費の分析 (差額 = 「R6年度当初予算額」 - 「R6年度決算額」)

※決算額には繰越を含む。

差額	分析
439,633千円	関連機関との調整に不測の日数を要し、工事着手が遅れたことなどにより、繰越が生じたことによる。

8 R6成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
98.3%	計画的に社会資本整備を進めることにより、良好な市街地形成につながっており、概ね目標を達成している。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	良好な市街地を形成するために、JR八本松駅周辺地区における市街地整備や、西条第二地区における地区計画道路整備など、計画的なまちづくりを進めており、概ね適切であったが、関連機関との協議等に不測の日数を要したことなどから繰越が生じた。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	各事業について、計画に基づき進めている。 事業を進めるにあたっては、民間事業者へ業務委託・工事委託しており、概ね経済的・効率的であった。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	関連機関との調整に不測の日数を要し、支障物件の移転が遅れ、事業の進行に影響が生じた。

10 総合評価

総合評価	<総評>
A	各種事業について、事業費の繰越が生じているものの、概ね計画どおりに進めることができ、人口増加など一定の成果が出ている。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
都市機能等がコンパクトに集約されたまちづくりや、安全・安心に暮らせる良好な都市環境の形成が求められている。	大規模な都市基盤の整備を進めているため、短期間での課題解消とはならないが、引き続き、道路・下水道等の都市基盤整備と併せた良好な市街地形成を図るとともに、防災・減災に向けたまちづくりを進めていく。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	1 暮らしを支える拠点地区の充実	① 良好な市街地形成の推進

事業の概要				
戦略	1	JR駅周辺のまちづくり	予算 1,243,884千円	決算 899,442千円
事務事業	1-1	八本松駅前土地区画整理事業【特会】	予算 690,844千円	決算 758,708千円

内容

1-1_八本松駅前土地区画整理の推進

八本松駅周辺の狭隘な幹線道路、生活道路や住環境を一体的に整備し、良好な都市環境を形成するため、土地区画整理事業による市街地整備を行った。

① 物件移転補償・調査等 (672,468千円)

土地区画整理事業の移転計画に則り、移転が必要となる建物等の補償や調査等を行った。

② 造成工事 (81,448千円)

土地区画整理事業の移転計画に則り、設計および造成工事を行った。

【活動指標】

土地区画整理事業 進捗率 47%⇒36% (事業費ベース)

【成果・課題】

次年度以降の造成工事に先立ち、必要な建物移転補償を行い建物の移転を進め、概ね計画どおり進捗した。

なお、移転補償の進捗や土質条件の相違などの課題に対応するため、移転計画の変更や全体工程の見直しを随時行いつつ事業の進展を図る。

■事業概要図



施行面積	10.6ha
総事業費	10,220百万円
平均減歩率	34.63%
保留地面積	4,453.98m ²

■建物移転及び整備の状況



事業の概要						
戦略	1	J R 駅周辺のまちづくり	予算	1,243,884 千円	決算	899,442 千円
事務事業	1-2	八本松駅前土地区画整理 関連公共事業	予算	439,002 千円	決算	59,489 千円

内容

1-2_八本松駅前土地区画整理に関連する公共施設の整備

土地区画整理事業と関連し、地区内の雨水排水施設や公園等を整備することで、良好な住環境の形成を図った。

① 雨水管渠整備 (41,490 千円)

土地区画整理事業に関連する雨水管渠の整備等を行った。

② 污水管渠整備 (14,406 千円)

土地区画整理事業に関連する污水管渠の整備等を行った。

③ 上水道整備 (3,497 千円)

土地区画整理事業に伴って実施する上水道工事費を負担した。

【活動指標】

雨水管渠整備率 25%⇒13% (事業費ベース)

污水管渠整備率 9%⇒8% (事業費ベース)

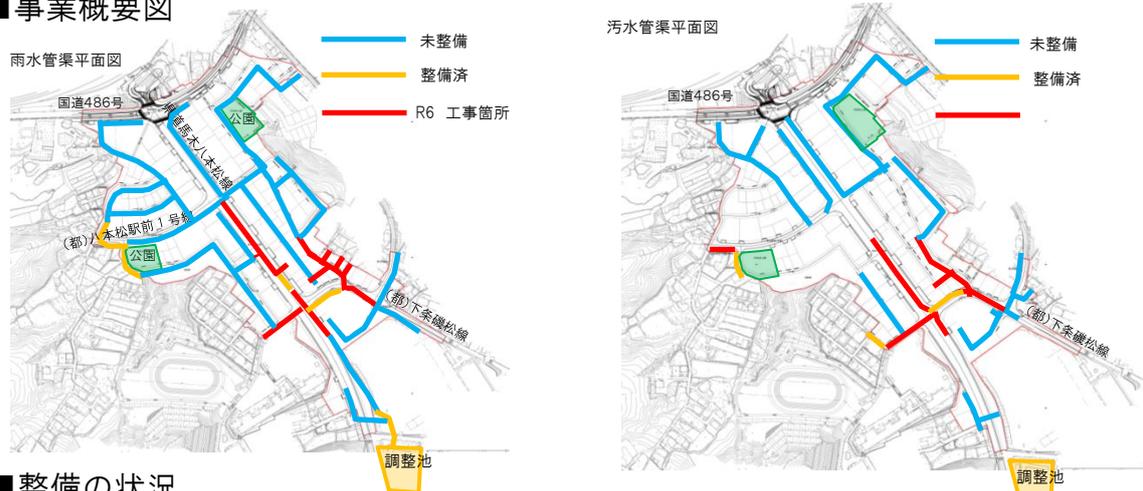
上水道整備率 18%⇒1% (事業費ベース)

【成果・課題】

八本松駅前土地区画整理事業の進捗に合わせ、雨水管渠及び污水管渠の整備を進め、一部は令和7年度に供用開始を行う。

関係機関との協議に不測の日数を要し工事を繰り越したが、完成へ向けて事業を実施している。

■事業概要図



■整備の状況



事業の概要						
戦略	1	J R 駅周辺のまちづくり	予算	1,243,884 千円	決算	899,442 千円
事務事業	1-3	八本松駅前地区計画事業	予算	114,038 千円	決算	81,245 千円

内容

1-3_八本松駅周辺の公共施設の整備

土地区画整理事業区域の西側などで幹線道路等社会資本の整備を行うとともに、地区計画による民間活力を活かしたまちづくりを進めることで、隣接する土地区画整理事業と併せ、より魅力的な市街地の形成を図った。

① 八本松駅前1号線道路改良 (63,956 千円)

八本松駅前1号線の道路改良工事・用地取得を行った。

② 八本松駅前交差点周辺施設設計 (17,131 千円)

八本松駅前交差点周辺における駐輪場等の設計を行った。

【活動指標】

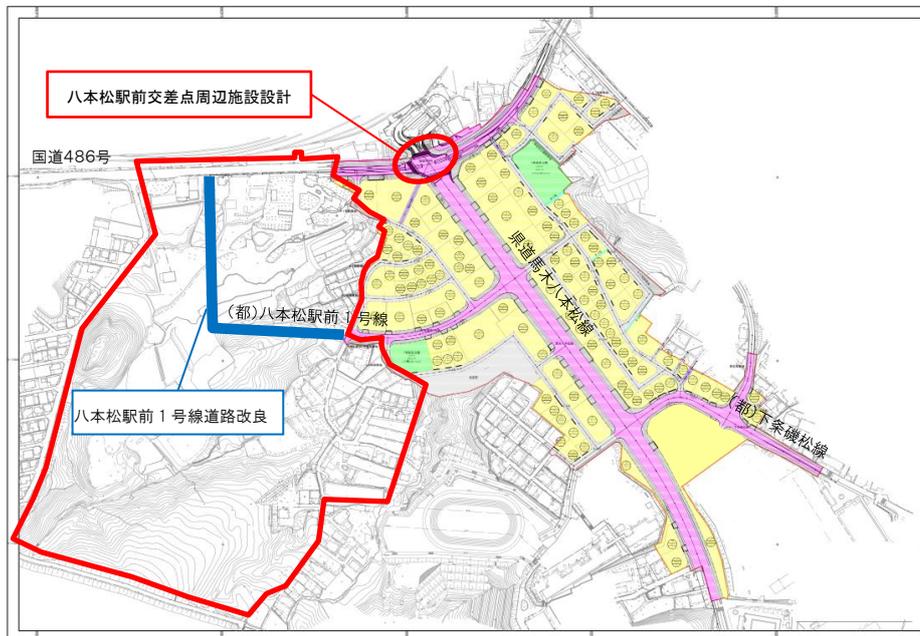
八本松駅前1号線整備率 79%⇒69% (事業費ベース)

【成果・課題】

都市計画道路八本松駅前1号線の工事を進めた。また用地取得は全て完了した。

八本松駅前土地区画整理事業の工事用道路として本路線を活用するため、各事業間の調整を行いつつ当路線の工事を進める必要がある。

■事業概要図



事業の概要						
戦略	2	安全安心な憩いの場となる公園づくり	予算	636,128千円	決算	609,804千円
事務事業	2-1	公園整備事業	予算	636,128千円	決算	609,804千円

内容

2-1_都市公園等の整備

安全で快適な公園づくりを行うことで良好な都市環境の形成を図った。

① 東広島運動公園の整備等 (577,729千円)

心の潤いや安らぎを与える休養・休息の場、スポーツやレクリエーション活動により健康で健全な育成の場として、また災害時における避難場所としての効果や機能を有する東広島運動公園の整備を行った。

ア 東広島運動公園の整備 (うち 330,137千円)

フットサルコート、第2多目的グラウンドを整備した。

イ 東広島運動公園体育館第1期改修 (うち 247,592千円)

令和6年度から東広島運動公園体育館の第1期改修を行っている。

ウ 東広島運動公園施設配置検討業務 (うち 0千円)

新たな施設の設置を含めた施設配置の検討及び設計業務を行った。

【活動指標】ア 第2多目的グラウンド整備 進捗率 85.5%⇒90% (事業費ベース)

イ 体育館改修 進捗率 21.5%⇒15% (事業費ベース)

ウ 施設配置検討 進捗率 100%⇒76%

【成果・課題】

計画どおり施設の供用開始を行った。引き続き、体育館の改修及び照明施設の整備を進める。

施設配置検討については、利用者からの要望のとりまとめに時間を要したことにより繰り越したが、継続して業務を進める。

■事業スケジュール

事業箇所	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
フットサルコート	造成						R6.10 供用開始
第2多目的グラウンド							R7.4 供用開始
照明施設整備(フットサル)							
体育館改修							

■事業概要図



事業の概要

② 都市公園施設等の更新（2,905千円）

市内都市公園の遊具等公園施設の更新を行った。

【活動指標】 R2～R6 の施設更新 100%⇒92%(事業費ベース)

【成果・課題】

市内都市公園の遊具等公園施設の更新については、国の補正予算に対応するため繰り越したが、継続して施設更新を実施する。

③ 下見学生街地区公園の設計（11,528千円）

下見学生街地区計画で位置付けられている公園整備（瓢箪池）を行うため、基本設計を行った。

【活動指標】 詳細設計 100%⇒基本設計 100%

【成果・課題】

詳細設計については、地元や関係者との協議を行い、整備に向けた方針を決定する必要がある。

■事業概要図



【新】④ 正福寺山公園調査業務等（0千円）

安芸津町の観光名所である正福寺山公園の現状を把握するための調査を行った。

【活動指標】 現況調査 100%⇒50%

【成果・課題】

地権者の確認等に時間を要したことにより繰り越したが、引き続き公園の現状の把握に努める必要がある。

⑤ 公園整備アクションプラン策定業務（8,976千円）

令和4年度に緑の基本計画が策定されたことを受け、公園が不足する地域に対し必要な公園数などの整備指標等を定める業務を行った。

事業の概要			
戦略	3	拠点地区周辺の市街地整備の 取組み	予算 157,720 千円 決算 118,679 千円
事務事業	3-1	西条第二地区地区計画整備 事業	予算 157,720 千円 決算 118,679 千円

内容

3-1_西条第二地区の整備

① 地区計画道路の整備 (118,350 千円)

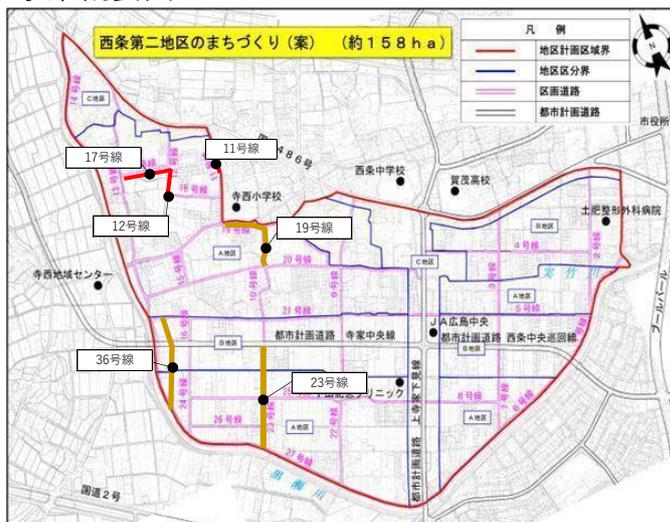
西条中心部に近接し、開発圧力の高い西条第二地区における良好な都市環境を形成するため、西条第二地区 (約 157.9ha) 内の地区計画道路を拡幅し、良好な交通環境の整備を行った。

【活動指標】 道路改良 3 路線 進捗率 37%⇒32% (事業費ベース)

【成果・課題】

地区計画道路 11 号線、12 号線及び 17 号線の整備を進めた。
 また、西条第二地区の路線全体の基本設計を完了させ、19 号線、23 号線及び 36 号線の道路詳細設計を行った。
 本地区の整備は、民間開発及びインフラ整備等と調整を図りながら効率的に整備を行う必要がある。

■ 事業概要図



■ 整備状況



事業の概要				
戦略	4	まちづくりに関する総合的な計画策定	予算 33,146 千円	決算 3,320 千円
事務事業	4-1	都市計画推進事業	予算 33,146 千円	決算 3,320 千円

内容

4-1_都市計画の推進

① 都市計画事業等の取組み (3,320 千円)

健康で文化的な活力ある地域づくりのため、土地利用やまちづくりに関する調査検討や都市計画審議会の開催など、都市計画行政の関連事務を実施した。

② 逆線引きの取組み (0 千円)

度重なる豪雨災害により甚大な被害が発生していることから、災害リスクの高い区域における都市的土地利用を抑制するため、市街化区域内の土砂災害特別警戒区域を市街化調整区域へ編入する「逆線引き」の実施に当たり、都市計画の手続きに必要な図書を作成した。

【活動指標】

逆線引きの実施箇所数：31 箇所⇒31 箇所

【成果・課題】

「逆線引き」の取組みについて、計画通り 31 箇所を市の都市計画審議会へ諮り、承認を得た。今後、県の都市計画審議会を経た後に、広島県にて告示を行う予定である。

■逆線引きの実施イメージ

先行的に実施する箇所 (①と②の両方に該当する箇所)

- ①市街化区域縁辺部・・・レッドゾーンが区域区分線に跨っている箇所
- ②未利用地 (建物なし)・・・住宅、店舗、工場等の土地利用がされていない箇所



令和 6 年度 目的別事業群総括管理（決算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	1 暮らしを支える拠点地区の充実
施策の将来の目標像	各拠点地区の役割に応じた機能が適正に配置され、様々な機能が集積される都市拠点を中心として、拠点間が相互に連携し合いながら、地域の生活・にぎわい・交流を支える拠点地区が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H30年度）	目標値（R6年度）
	居住誘導区域内の人口密度	西条・八本松・志和・高屋 50.1人/ha、 黒瀬 48.7人/ha、河内 16.2人/ha、 安芸津 23.3人/ha*住民基本台帳	西条・八本松・志和・高屋 52.0人/ha、 黒瀬 現状維持、河内 現状維持、 安芸津 現状維持*住民基本台帳
	空き家バンク登録件数	23件 *累計実績値	150件 *累計実績値

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 住環境の整備・保全	主管部局・所属	建設部	住宅課
関係部局・所属	地域振興部	地域づくり推進課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	安全・安心に暮らせる良好な住環境の形成	現状	市内3,947件の空き家のうち、694件が老朽空き家となっている。 市営住宅960戸のうち、388戸が耐用年数を超過している。		
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.	
	管理不全空き家の増加は、安全性・公衆衛生・景観の悪化等、生活環境に影響を及ぼす可能性がある。	安全安心な住環境の実現	高	1	
	老朽化していく市営住宅を適切に維持管理していく必要がある。	適正な市営住宅ストックの実現	低	2	

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7		
(7) 空き家バンク登録件数の増加(累計)	14 (H29)		130	150	261	150 (R6)	件
			165	189			
			126.9%	126.0%		126.0%	
(4)	()	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率				()	
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R 5 年度		130,867		108,878		
		37,293		63,549		
R 6 年度		274,803		199,652		31,900千円
		41,919		31,543		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	8・6・1 空き家対策事業	住宅課	2.40	24,789	36,795
				30,747	32,782
1-2	8・6・1 住宅指導事務	住宅課	1.11	26,672	44,067
				1,019	21,928
2-1	8・6・2 市営住宅建設事業	住宅課	0.61	79,406	193,941
				77,112	144,942
合計			4.12	130,867 108,878	274,803 199,652

7 R6事業費の分析 (差額 = 「R6年度当初予算額」 - 「R6年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	75,151千円	分析	市営寺西住宅の外壁等改修工事費が想定よりも安価であったため。また、がけ地近接等危険住宅移転事業、民間木造住宅耐震改修事業の申請が想定よりも少なかったため。
----	----------	----	---

8 R6成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	126.0%	分析	空き家バンクへの登録手続きが困難な方に対して、登録支援制度などの新たな取組みにより、登録目標件数は達成できた。
-------	--------	----	---

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	空き家バンクの物件登録数が少ないことに比べて、空き家バンクの利用登録者数は多い傾向にあり、空き家取得のニーズは高くなっていることから、空き家の掘り起こしについて検討が必要。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	空き家に関する啓発活動については、空き家対策に取り組む一部の住民自治協議会と連携をとって行うことができ、効率的な取組みを行った。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	空き家問題に対する認識は高まってきているが、空き家バンクの物件登録数に結びついていない状況にある。

10 総合評価

総合評価	B	<総評>
		成果指標は達成しているものの、空き家バンクの成約件数は昨年度より減少している。新たな取組みを進めているところであり、これらを着実に進めることで、成約件数の増加に繋げていく。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
空き家バンクの物件登録数を増やすために、人口減少地域において新たな取組みを始めた。その影響が少しずつ現れているものの、まだ物件登録数の増加にまでは至っていない。	人口減少地域における新たな取組みを引き続き進めることで、空き家バンクの物件登録数の増加を図る。また、空き家対策に取り組まれている住民自治協議会と連携して、空き家の利活用に繋がる取組みを実施する。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	1 暮らしを支える拠点地区の充実	② 住環境の整備・保全

事業の概要					
戦略	1 安全安心な住環境の実現	予算	80,862 千円	決算	54,710 千円
事務事業	1-1 空き家対策事業	予算	36,795 千円	決算	32,782 千円

内容

1-1_空き家対策の推進

空き家の増加を抑制し、管理不全の空き家を減少させるため、空き家の状態に応じ、総合的な空き家対策を推進した。

空き家数	3,947 軒	(令和 3 年度調査)
空き家バンク登録数	189 件	(令和 7 年 3 月末時点)

① 空き家の利活用の推進 (12,571 千円)

ア 補助金の助成による空き家の利用活用推進

- (ア) 相続登記に係る費用の助成 (実施数 4 件、補助率 1/3、上限 10 万円)
- (イ) 改修費用の助成 (実施数 11 件、補助率 1/3、上限 50 万円)
- (ウ) 人口減少地域における改修費用の助成 ((イ)の補助額に 30 万円を限度に上乗せ 実施数 9 件)
- (エ) 空き家に残った家財道具の処分費の助成 (実施数 8 件、建物の面積に応じて補助金額 10~15 万円まで)
- (オ) 地域の交流の場など地域活性化に寄与する空き家利活用のための取得・改修費用の助成
(実施数 1 件、国庫補助、補助率 2/3、上限 300 万円)

イ 空き家バンクの機能強化

- 【新】 (ア) 物件整理及び空き家バンクへの登録支援 (うち 207 千円)
実施数 5 件
- 【新】 (イ) 成約報奨金制度による空き家の流通の活性化 (うち 100 千円)
実施数 1 件
- 【拡】 (ウ) 空き家の利活用ニーズの情報発信強化

ウ その他の取組み

- 【新】 (ア) 所有者不明等の空き家対策の強化 (うち 84 千円)
- (イ) FMラジオ等のメディアの活用や定住サポートセンターとの連携による補助制度等の情報発信



<空き家対策事業費補助金を活用した改修事例>

事業の概要

【活動指標】 空き家バンク登録件数：40件⇒24件、成約件数：30件⇒10件

【成果・課題】

当初は年間40件の登録を見込んでいたが、24件の登録であった。
空き家バンク制度において、新規に実施した取組みの周知等に、時間を要してしまったことが原因と考えられる。年度後半には、登録件数が増えており、新規の取組みに一定の効果はあるものと認められるため、引き続き空き家対策の取組みを継続・強化していく必要がある。

② 空き家の発生抑制、適正管理、除却等の推進（16,742千円）

補助金の助成により空き家の除却を推進する。

ア 老朽空家の解体費用の助成（実施数35件、補助率1/3、上限50万円）

イ 啓発用チラシの送付等による空き家の適正管理、除却等の促進

【新】ウ 空き家バンク事前登録制度の創設による空き家になる前からの対策強化（実施数1件）



※出典：国土交通省HPより <老朽危険空家事例>

※出典：京都市HPより

【活動指標】 老朽空き家の除却件数：20件⇒35件

【成果・課題】

解体補助金の申請実績については、前年度以上の申請実績となった。
課題としては、管理不全の空き家は、老朽化の進行が顕著であるため、危険な状態になる前に適切な管理や除却へ誘導していく必要がある。

事業の概要				
戦略	1	安全安心な住環境の実現	予算 80,862 千円	決算 54,710 千円
事務事業	1-2	住宅指導事務	予算 44,067 千円	決算 21,928 千円
内容				
<p>1-2_住宅の安全性などの質の向上の推進</p> <p>安全・安心で、良好な住環境の確保を図るための住宅施策を実施した。</p> <p>① 民間木造住宅の安全性の向上 (21,170 千円)</p> <p>[社会資本整備総合交付金]</p> <p>ア 耐震診断の実施 (うち 4,444 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断 (実施数 18 件、自己負担金 1 万円) <p>【拡】イ 耐震改修等に係る費用の助成 (うち 1,500 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修 (実施数 1 件 補助率：対象工事費の 80%、上限 100 万円) ・除却 (実施数 1 件 補助率：対象工事費の 1/3、上限 50 万円) <p>【拡】ウ がけ地近接危険住宅の移転費用の助成 (うち 15,226 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体・除却 上限：住宅局標準建設費等通知に定められた除却工事費 (実施数 3 件) ・移転費 上限 975 千円/件 (実施数 3 件) ・借入金利子相当 上限 7,318 千円/件 (実施数 0 件) ・移転促進のための助成制度 上限 2,000 千円/件 (実施数 2 件) <p>【拡】② 住宅に関する情報の発信 (0 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断支援の周知 ・耐震改修等補助の周知 				

事業の概要			
戦略	2 適切な市営住宅ストックの実現	予算 193,941 千円	決算 144,942 千円
事務事業	2-1 市営住宅建設事業	予算 193,941 千円	決算 144,942 千円

内容

2-1_市営住宅ストックの適切な管理

長寿命化計画に基づき住宅改善・長寿命化工事等を実施する。

- ① 市営住宅の予防保全（140,098 千円）[社会資本整備総合交付金]
 - ア 長寿命化改修工事のための設計（市営薬師丸団地 1 棟 24 戸）
 - イ 長寿命化改修工事（市営寺西住宅 3 棟 48 戸）



(改修前)

<老朽市営住宅事例>

(改修後)

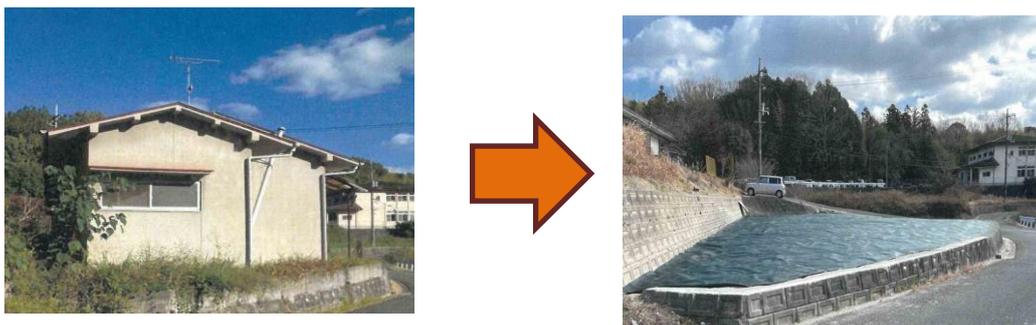
【活動指標】 市営寺西住宅の改修 3 棟 48 戸⇒3 棟 48 戸

【成果・課題】

市営寺西住宅の外壁改修工事を実施することで、住宅の長寿命化及びライフサイクルコストの縮減を行うことができた。引き続き、計画的な市営住宅の改善事業に取り組んでいく。

- ② 住環境悪化の抑制や防犯・防火等の向上（3,335 千円）

ア 老朽化した市営住宅の解体（市営孤老向住宅 1 棟 3 戸）



(解体前)

<老朽市営住宅事例>

(解体後)

【活動指標】 市営孤老向住宅の除却 1 棟 3 戸⇒1 棟 3 戸

【成果・課題】

老朽化して新たな入居募集を行っていない市営孤老向住宅の除却を実施した。

老朽化が進んだ市営住宅については、計画的に解体を行っていく。

令和 6 年度 目的別事業群総括管理（決算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	2 安全で円滑な生活交通の充実
施策の将来の目標像	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域公共交通体系が確立されているとともに、生活道路網が安定的に構築・整備され、適切な維持管理がなされています。		
施策の数値目標	指標	現状値	目標値
	公共交通空白地域外の人口比率	82.7%	85.0%
	市道の整備率	57.8%	58.5%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 生活交通ネットワークの充実	主管部局・所属	都市交通部 交通政策課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域公共交通体系が確立されている	現状	地域公共交通に対する満足度が低迷している	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	地域公共交通が導入されているが利用率が低迷 地域公共交通が導入されていない空白地が存在	地域運行主体を明確にした 持続可能な移動手段の導入・維持・転換	中	1

4 成果指標

成果指標		初期値 (年度)	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7		
(7)	地域公共交通の展開数	4 (H30)	7	7	7	7 (R6)	地域
			7	7		()	
			100.0%	100.0%		100.0%	
(4)		()				()	
(7)		()				()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
	5年度		105,076		74,724	12,760千円
			67,441		43,870	
	6年度		96,818		77,252	
			61,049		51,579	

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	2 安全で円滑な生活交通の充実	① 生活交通ネットワークの充実

事業の概要			
戦略	1 地域運行主体を明確にした持続可能な移動手段の導入・維持・転換	予算 96,818 千円	決算 77,252 千円
事務事業	1-1 地域公共交通対策事業	予算 96,818 千円	決算 77,252 千円

内容

1-1_地域公共交通の取組み

① コミュニティバス等の運行 (69,107 千円)

ア コミュニティバス等の運行管理・支援

(ア) 豊栄そよかぜ号、安芸津海風バス、河内あゆピチふれあい号の運行管理 (うち 41,116 千円)

名称	運行開始日	運行概要
豊栄そよかぜ号	H21. 2. 1	5 路線 23 系統、週 4 日、1 日 4~8 便・路線
安芸津海風バス	H21. 4. 1	4 路線 6 系統、週 5 日、1 日 4 便・路線
河内あゆピチふれあい号	H22. 11. 1	3 路線 5 系統、週 5 日 (一部月~金)、1 日 1~3 便・路線

(イ) 地域が主体で運行する黒瀬さくらバス、入野デマンド交通、おまるめ山バス、志和ホテル交通の運行支援 (うち 27,991 千円)

名称	運行開始日	運行主体	運行概要
黒瀬さくらバス	H26. 6. 23	黒瀬さくらバス運行協議会	6 路線 6 系統、週 1~2 日、1 日 4 便・路線
入野デマンド交通	R1. 11. 11	入野自治組織 篁の郷	週 6 日、最大 10 便/日
おまるめ山バス	R5. 10. 2	小谷小学校区おまるめ山バス運営協議会	5 路線 8 系統、週 4 日、1 日 4 便・路線
志和ホテル交通	R6. 3. 4	志和町地域交通運行協議会	週 2 日、最大 5 便/日・路線

【活動指標】

R 6 年度 年間乗客数 27,001 人⇒18,701 人 (前年度: 17,314 人)

【成果・課題】

市委託による3地域での運行、および地域主体で運行する4地域の運行支援を実施し、地域公共交通の維持及び確保を図ることができた。

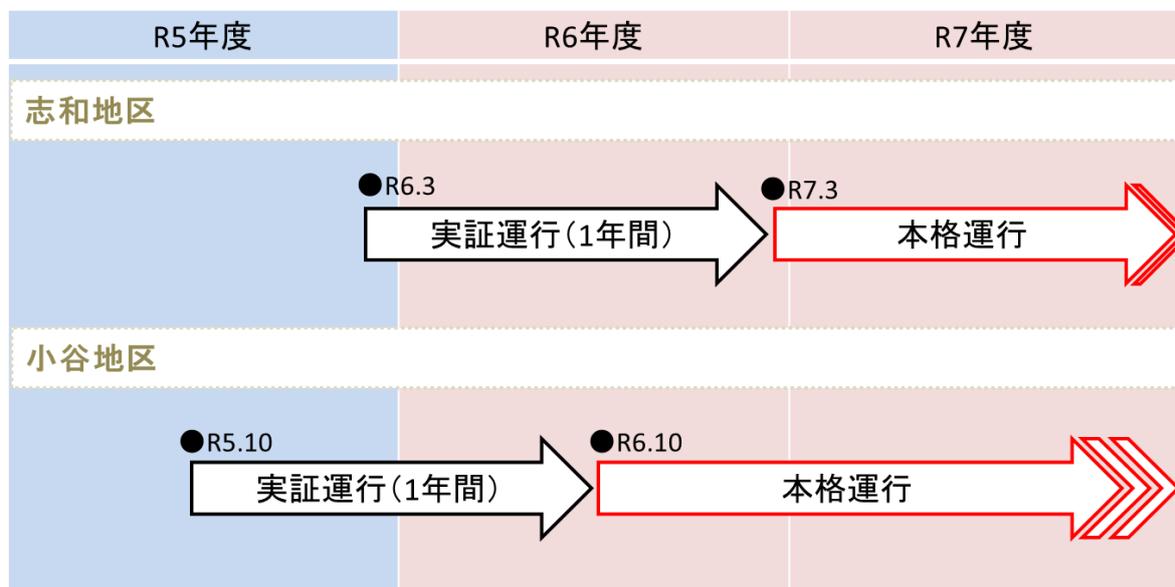
ただし、人口減少の進行や運転手不足等により、地域公共交通を取り巻く環境は厳しいものとなっており、持続的な運営に向けて、今後も市が伴走しながら、地域主体の利用促進等の取り組みや体制づくりを進める必要がある。

② 交通空白地の解消に向けた取組み (7,672 千円)

ア 地域が主体となった公共交通の実証運行への支援（モビリティ・マネジメントの推進）（うち7,325千円）

「志和地域」及び「小谷地域」において、各地域で行われる実証運行に係る経費の支援や持続的な運営に向けての運行改善など、伴走支援を行った。

モビリティ・マネジメント
過度な自動車利用から、公共交通・自転車等を適切に利用する方向に自発的な変化を促す、コミュニケーションを中心とした交通施策。



③ 地域公共交通会議の運営 (473 千円)

地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づく地域公共交通会議の運営事務を行った。

令和 6 年度 目的別事業群総括管理（決算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	2 安全で円滑な生活交通の充実
施策の将来の目標像	市民生活の利便性を高めるため、安全で円滑な移動が確保された地域交通体系が確立されるとともに、生活道路網が安定的に構築・整備され、適切な維持管理がなされています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H29年度)	目標値 (R6年度)
	公共交通空白地域外の人口比率	82.7%	85.0%
	市道の整備率	57.8%	58.5%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 市道、街路、国県道の整備・保全	主管部局・所属	建設部 道路建設課
関係部局・所属	建設部 道路建設課	建設部	維持課
	建設部 技術企画課	都市交通部	都市計画課
	都市交通部 都市整備課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	地域の实情に合わせた道路交通網の構築や、道路構造物の定期的な点検に基づく予防保全により、交通の利便性及び安全性の向上を図る。	現状	生活に身近な道路交通網の構築が求められている。また、道路環境が十分に整っていない箇所がある。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
老朽化していく道路等を適正に維持管理していく必要がある。	橋梁等道路施設の長寿命化		高	1
市街地内の良好な道路の骨格が十分でない。	都市計画道路の整備		高	2
老朽化していく道路等を適正に維持管理していく必要がある。	市道、その他市管理道路及び県道維持受託路線の維持修繕		中	3
国、県道を補完する道路網の構築が十分でない。安心・安全な自転車通行空間が十分に確保されていない。	都市計画道路以外の幹線市道の整備		中	4
地域生活に必要な国、県道の整備が十分でない。	県が整備する道路事業の促進		低	5
安全性や利便性を確保する生活に身近な道路が十分に整備されていない。	生活道路における緊急自動車等の安全な通行空間の整備		低	6

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7		
(7) 道路橋の補修数	(R2)		27	13	13	131	橋
			16	22		(R8)	
			59.3%	169.2%		57.3%	
(4) 街路整備事業の進捗率(事業費ベース)	(R3)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	75	81	87	100	%
			69	77		(R11)	
			92.0%	95.1%			
(7) 幹線・生活市道整備事業の執行率	(R3)		100	100	100	100	%
			111	116		(R7)	
			110.8%	115.8%			
(1) 道路維持修繕費執行率	(R3)		100	100	100	100	%
			112	99.7		(R7)	
			112.0%	99.7%			

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)		当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度		4,038,569		4,216,247		193,059千円
		2,185,501		1,772,108		
R6年度		4,061,123		4,117,906		
		1,917,212		1,895,160		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	8.2.2 橋梁長期保全事業	維持課	4.14	812,836	415,753
				754,535	440,240
2-1	8.5.2 街路整備事業	都市整備課	2.74	572,867	756,068
				542,990	628,251
3-1	8.2.2 道路維持修繕事業	維持課	9.65	1,370,385	1,617,899
				1,535,810	1,612,395
3-2	8.2.2 県道維持事業	維持課	2.95	173,018	174,631
				168,956	180,506
4-1	8.2.3 幹線市道整備事業	道路建設課	6.54	879,183	795,272
				957,829	1,027,751
5-1	8.5.1 国・県道路整備事業	都市計画課	1.01	22,000	22,400
				9,350	27,283
5-2	8.2.3 県道整備事業	道路建設課	1.15	94,780	91,700
				104,708	91,563
6-1	8.2.3 生活市道整備事業	道路建設課	2.08	113,500	187,400
				142,069	109,917
合計			30.26	4,038,569	4,061,123
				4,216,247	4,117,906

7 R6事業費の分析 (差額 = 「R6年度当初予算額」 - 「R6年度決算額」)

※決算額には繰越を含む。

差額	分析
-56,783千円	前年度から繰り越した事業の完了に伴い、決算額が令和6年度当初予算を上回る結果となった。

8 R6成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
119.9%	単年度の目標に対しては概ね満足する結果となっている。今後も財源確保に努めながら、計画に基づいて継続的な事業推進を図る必要がある。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	交通の利便性や市民の生活環境の安全性向上を目的として、道路改良、歩道の整備、道路橋等インフラ施設の補修等を行い、一定の進捗が図れた。 インフラ施設の補修については、今後も多額の費用を要することが想定されるため、より効果的な手法を検討する必要がある。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	国の補助金や起債を積極的に活用するとともに、関係機関への外部委託等を活用し事業実施に努めた。 今後も安定した事業実施のため、財源確保と限られた予算の有効活用が継続的な課題である。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	(仮称)八本松スマートインターチェンジ整備事業など、関係機関との調整に不測の日数を要したこと等により、年度内の工事完了に至らない案件が発生した。

10 総合評価

総合評価	<総評>
B	道路整備及び道路橋等の維持修繕に限られた人員で効率的に行うことで、交通の利便性及び安全性の向上を推進したが、インフラ施設の修繕等については、事業の進度に遅れもみられることから、新たな計画に基づいて着実に実施していく必要がある。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化施設の修繕に係る費用が増大し、道路整備に係る予算が限られる中、今後より一層の選択と集中による効率的な道路整備が必要となる。 ・橋梁の長寿命化や舗装の更新等について、計画的な維持管理によりコスト縮減を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備については、財源を確保し、課題となっている渋滞箇所の解消や広域幹線道路への連絡強化並びに通学路等の歩道整備により、快適で安全安心な道路環境の確保を図る。 ・老朽化が進む道路施設について、計画的な点検及び修繕を実施していくことで、適正な維持管理とコスト縮減を図る。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	2 安全で円滑な生活交通の充実	② 市道、街路、国県道の整備・保全

事業の概要			
戦略	1 橋梁等道路施設の長寿命化	予算 415,753 千円	決算 440,240 千円
事務事業	1-1 橋梁長期保全事業	予算 415,753 千円	決算 440,240 千円

内容

1-1_橋梁等道路施設の長寿命化

橋梁について、長寿命化を図るとともに定期点検を行った。

- ① 道路（市道）橋の点検（136,906 千円）
 - ア 橋梁定期点検 246 橋
- ② 道路橋補修設計（14,380 千円）
 - ア 橋梁補修設計 21 橋
- ③ 道路橋長寿命化修繕計画策定（14,013 千円）
 - ア 橋梁長寿命化修繕計画策定業務
- ④ 道路（市道）橋補修（272,011 千円）
 - ア 補修工事 9 橋
 - イ 小規模橋梁補修業務 14 橋
- ⑤ アセットマネジメントシステム利用料等（2,930 千円）

【活動指標】

進捗率（第1次橋梁長寿命化修繕計画） 65.3%⇒74.3%

【成果・課題】

246 橋の橋梁点検、21 橋の補修設計、23 橋の橋梁補修を実施した。
 関係機関協議に不測の日数を要した影響等により、年度内完了できない案件が発生した。

[御建跨線橋（西条町）橋梁補修状況]

[補修前]



[補修後]



事業の概要				
戦略	2	都市計画道路の整備	予算 756,068 千円	決算 628,251 千円
事務事業	2-1	街路整備事業	予算 756,068 千円	決算 628,251 千円
内容				
2-1_都市計画道路の整備 (627,019 千円)				
都市の骨格となる道路ネットワークの形成に向けた都市計画道路の整備を実施し、一部路線について供用を行った。				
ア 西条中央巡回線 (寺家工区) [事業延長 580m、幅員 17m] (うち 59,586 千円)				
イ 吉行泉線 (2 工区) [事業延長 460m、幅員 14m] (うち 93,233 千円)				
ウ 丸山檜原線 [事業延長 760m、幅員 16m] (うち 99,555 千円)				
エ 寺家中央線 (1 工区) [事業延長 578m、幅員 17m] (うち 49,521 千円)				
オ 寺家中央線 (2 工区) [事業延長 557m、幅員 17m] (うち 179,951 千円)				
カ 中島線 [事業延長 354m、幅員 9.25m] (うち 145,173 千円)				
【活動指標】				
路線名		内容	進捗率 (事業費ベース)	
西条中央巡回線 (寺家工区)		道路改良	98%⇒98%	
吉行泉線 (2 工区)		道路改良、用地取得 文化財調査	91%⇒92%	
丸山檜原線		道路改良、用地取得、設計	100%⇒92%	
寺家中央線 (1 工区)		道路改良、設計	95%⇒92%	
寺家中央線 (2 工区)		設計、用地取得、物件移転補償	14%⇒11%	
中島線		道路改良	98%⇒97%	
【成果・課題】				
計 5 路線について、道路改良工事等を実施し、吉行泉線 (2 工区)、中島線の一部区間の供用を開始した。				
設計の見直しや関係機関との調整により遅れた部分はあるが、早期に事業効果を発現するため、工夫しながら事業を進めていく必要がある。				

事業の概要						
戦略	3	市道、その他市管理道路及び県道受託路線の維持修繕	予算	1,792,530 千円	決算	1,792,901 千円
事務事業	3-1	道路維持修繕事業	予算	1,617,899 千円	決算	1,612,395 千円
内容						
3-1_市道、その他の市管理道路の維持修繕						
① 道路の維持修繕 (1,019,860 千円)						
ア 年間委託による維持修繕：19 地区（うち 530,378 千円）						
イ 維持修繕工事（うち 177,746 千円）						
（緊急自然災害防止対策事業債等を活用して実施した。）						
ウ 委託による街路樹の育成管理：4 件（うち 96,931 千円）						
エ 委託による除草伐木（うち 151,865 千円）						
オ 測量設計等業務（うち 61,856 千円）						
カ 補償業務（うち 0 千円）						
キ 用地買収費（うち 1,084 千円）						
② 舗装の修繕 (366,273 千円)						
（公共施設等適正管理推進事業債等を活用して実施した。）						
③ 交通安全施設整備工事 (99,994 千円)						
④ 道路維持管理作業報償金 (19,639 千円)						
⑤ 維持管理作業用原材料費等 (75,514 千円)						
⑥ 維持修繕方針の策定						
⑦ 舗装維持修繕計画の策定 (31,115 千円)						
【活動指標】						
進捗率（舗装維持修繕計画：令和 4 年 9 月改訂分） 73.0%⇒68.2%						
危険箇所の緊急・応急措置率 100.0%⇒100.0%						
【成果・課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・舗装維持修繕計画：令和 4 年 9 月改訂分の進捗率は 68.2% ・道路損傷等、通報やパトロールで把握した危険箇所の緊急・応急措置は 100%実施した。 ・年間委託による維持修繕、維持修繕工事（15 件）、舗装修繕工事（13 件）、交通安全施設整備工事（5 件）を実施した。 <p>関係機関との協議に不測の日数を要した等により、年度内完了ができない案件が生じた。</p>						

事業の概要						
戦略	3	市道、その他市管理道路及び 県道受託路線の維持修繕	予算	1,792,530 千円	決算	1,792,901 千円
事務事業	3-2	県道維持事業	予算	174,631 千円	決算	180,506 千円
内容						
<p>3-2_県道移譲路線の維持修繕</p> <p>① 移譲対象 31 路線の維持修繕 (180,506 千円)</p> <p>年間委託による維持修繕</p> <p>【活動指標】 危険箇所の緊急・応急措置率 100.0%⇒100.0%</p> <p>【成果・課題】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>当初計画どおり年間を通じて、年間委託による維持修繕を実施した。</p> </div>						

事業の概要					
戦略	4	都市計画道路以外の幹線市道の整備	予算	795,272 千円	決算 1,027,751 千円
事務事業	4-1	幹線市道整備事業	予算	795,272 千円	決算 1,027,751 千円
内容					
<p>4-1_幹線道路の整備</p> <p>国、県道を補完する幹線道路の整備を行った。</p> <p>① 新設改良工事（811,171 千円）</p> <p>ア 継続事業</p> <p>(7) (仮称)八本松スマート IC 関連路線（うち 503,543 千円） （仮称）正力西 1 号線、正力飯田線</p> <p>(4) 通学路関連路線（うち 180,072 千円） 土与丸御藪宇線、駅前蓮光寺線、江熊大楨線、武士郷曾線</p> <p>(ウ) 通常路線（うち 127,556 千円） 上三永助実線（旧土与丸上三永線）、赤崎海岸線、大河内大沢線</p> <p>② 業務委託（測量設計、用地測量、補償調査）（65,391 千円）</p> <p>ア 継続事業</p> <p>(7) (仮称)八本松スマート IC 関連路線（うち 27,617 千円） （仮称）正力西 1 号線、正力飯田線</p> <p>(4) 通学路関連路線（うち 33,473 千円） 駅前蓮光寺線、椀坂志和西線、黒瀬川 1 号線</p> <p>(ウ) 通常路線（うち 4,301 千円） 上三永助実線（旧土与丸上三永線）</p> <p>イ 新規事業 事業化検討</p> <p>③ 用地取得、物件補償等（118,169 千円）</p> <p>ア 継続事業</p> <p>(7) (仮称)八本松スマート IC 関連路線（うち 17,180 千円） （仮称）正力西 1 号線、正力飯田線</p> <p>(4) 通学路関連路線（うち 70,280 千円） 駅前蓮光寺線、土与丸御藪宇線、椀坂志和西線、武士郷曾線、黒瀬川 1 号線</p> <p>(ウ) 通常路線（うち 30,709 千円） 飯田工業団地線、上三永助実線（旧土与丸上三永線）</p> <p>【新】④ 渋滞対策（33,020 千円）</p> <p>ア 交差点改良 市内の渋滞が多発する 3 箇所の交差点改良設計を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央巡回線（仲伏沖交差点） ・一町田吉行線（大坪交差点、市役所西交差点） <p>イ ソフト対策等 信号時間調整や交通規制等の関係機関協議を行った。</p>					

事業の概要

⑤ 道路整備計画策定（0千円）

⑥ 自転車活用推進計画策定（0千円）

自転車の活用の推進に関する総合的かつ計画的な推進を図ることを目的として、自転車活用推進計画を策定した。

【活動指標】

工 事 6 路線⇒9 路線

うち、2 工事は令和 5～6 年度工事、1 工事は令和 5～8 年度工事

業務委託 6 路線⇒8 路線

用地取得・物件補償 4 路線⇒9 路線

【成果・課題】

幹線市道 14 路線について、道路改良工事、測量設計等を実施し、事業進捗を図った。

（仮称）八本松スマート IC 関連路線については、スマート IC へのアクセス道路及び周辺市道整備を計画通りに実施することができた。

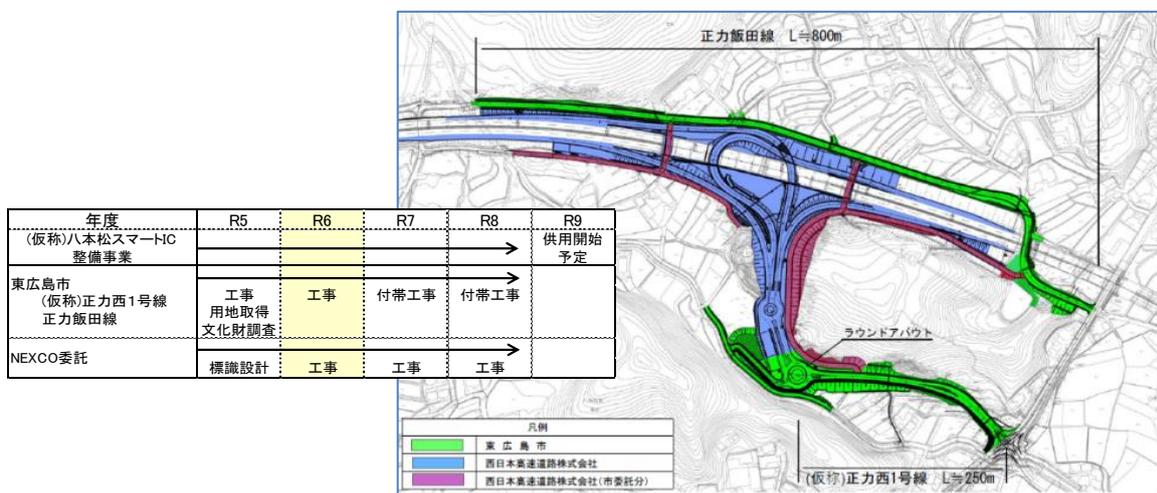
〔（仮称）八本松スマート IC（八本松町）市道整備状況〕

〔周辺市道等の整備状況〕

〔アクセス道路の整備状況〕



■ 事業スケジュールおよび事業概要図（（仮称）八本松スマート IC 整備事業）



事業の概要			
戦略	5 県が整備する道路事業の促進	予算 114,100 千円	決算 118,846 千円
事務事業	5-1 国・県道路整備事業	予算 22,400 千円	決算 27,283 千円

内容

5-1_国・県道路整備の促進

広島県が実施する地域の生活に必要な道路整備を促進した。

① 広島県が市内で整備する国県道に係る整備の促進 (27,283 千円)

広島県が市内で整備する国県道に係る整備費の一部を、県条例の規定により負担した。

- ・国道375号(御菌宇地区)ほか7路線(10地区)

【成果・課題】

広島県が実施する道路事業について、県との連携調整を積極的に実施した結果、国道375号御菌宇バイパス4車線化の一部供用など、一定の事業進捗があった。

引き続き、県と連携のうえ地元調整を進め、進捗に遅れが生じないように整備促進を図る必要がある。

◎国道375号 御菌宇バイパス



国道375号 御菌宇交差点～呉方面

事業の概要			
戦略	5	県が整備する道路事業の促進	予算 114,100 千円 決算 118,846 千円
事務事業	5-2	県道整備事業	予算 91,700 千円 決算 91,563 千円
内容			
<p>5-2_県道の受託路線の整備</p> <p>県から受託した県道の整備を行った。</p> <p>① 道路改良工事（91,563 千円）</p> <p>東広島向原線</p> <p>【活動指標】</p> <p>東広島向原線の整備率 42.7%⇒42.7%[整備延長ベース]</p> <p>※令和6年度は函渠工のみの実施であり、整備進捗率に影響なし。</p> <p>【成果・課題】</p> <p>受託路線県道東広島向原線（内地区）について、函渠工 L=70mの整備を予定通り実施した。</p>			

事業の概要				
戦略	6	生活道路における緊急自動車等の安全な通行空間の整備	予算 187,400 千円	決算 109,917 千円
事務事業	6-1	生活市道整備事業	予算 187,400 千円	決算 109,917 千円
内容				
6-1_生活道路の整備				
地域の安全安心な道路環境を整備するため、緊急自然災害防止対策事業債等を活用し、生活道路の工事等を実施した。				
① 新設改良工事 (92,561 千円)				
ア 継続事業				
御菌宇西 17 号線、御菌宇東 39 号線、田口東 28 号線、見土路従線中組 1 号線				
イ 新規事業				
造賀東 2 号線、丸山兼沢線、木谷賀永線				
② 業務委託 (測量設計、用地測量、補償調査) (12,003 千円)				
ア 継続事業				
政宗線、行武線、戸野診療所線				
イ 新規事業				
中島 10 号線、造賀東 2 号線				
③ 物件補償 (5,353 千円)				
ア 継続事業				
御菌宇西 17 号線、御菌宇東 39 号線				
【活動指標】				
工 事 8 路線⇒8 路線				
うち、1 工事は令和 5～6 年度工事、2 工事は令和 6～7 年度事業				
業務委託 1 路線⇒5 路線				
物件補償 4 路線⇒2 路線				
【成果・課題】				
生活市道 12 路線について、道路改良工事、測量設計等を実施し、事業進捗を図った。				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>[御菌宇東 39 号線 (西条町) 生活市道整備状況]</p> <p>[整備前]</p>  </div> <div style="font-size: 2em; color: blue; margin: 0 20px;">➔</div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>				

令和 6 年度 目的別事業群総括管理（決算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化の推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H30年度）	目標値（R6年度）
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 循環型社会の構築	主管部局・所属	生活環境部 廃棄物対策課
関係部局・所属	生活環境部 市民生活課	生活環境部	環境先進都市推進課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	3R活動を推進し、循環型社会の構築を目指す。	現状	①ごみの減量化の進捗が遅れている。 ②資源化率が上がらない。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
市の責務として一般廃棄物を適正に処理する必要がある。	→	一般廃棄物の適正処理	高	1
一人1日当たりのごみ排出量が県内他市と比較して多い。		生ごみ処理容器等の普及や啓発による一般廃棄物の減量化の推進	中	2
資源化率が上がらない。		分別収集に関する啓発等による資源化の促進	低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7		
(7) 市民一人1日当たりのごみ排出量	986 (H30) マイナス指標設定	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	867	850	850	850 (R6)	g
			900	875		97.1%	
			96.3%	97.1%			
(4) 資源化率	10 (R1)		26	27	22.2	27 (R6)	%
			22	20.5		75.9%	
			84.6%	75.9%			
(5)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度		1,494,478		1,293,776		89,767千円
		1,465,386		1,262,221		
R6年度		1,514,282		1,312,359		
		1,487,094		1,285,371		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	4・2・2 一般廃棄物適正処理事業	廃棄物対策課	6.08	1,371,841	1,427,009
				1,204,096	1,243,438
1-2	4・1・4 環境美化及び保護事業	廃棄物対策課	1.51	36,869	29,858
				32,642	27,032
2-1	4・2・2 一般廃棄物減量化推進事業	廃棄物対策課	2.88	15,183	13,066
				11,840	11,811
2-2	2・1・12 食品ロス削減推進事業	市民生活課	0.98	2,378	1,355
				2,160	1,163
3-1	4・2・2 資源化促進事業	廃棄物対策課	2.62	68,207	42,994
				43,038	28,915
合計			14.07	1,494,478	1,514,282
				1,293,776	1,312,359

7 R6事業費の分析 (差額 = 「R6年度当初予算額」 - 「R6年度決算額」)

※決算額には繰越を含む。

差額	分析
201,923千円	主な要因は、家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託について、入札残が生じたことによる。

8 R6成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	分析
86.5%	ごみ排出量は減少傾向にあり、市民一人1日当たりのごみ排出量も年々減少している。資源化率は、広島中央エコパークにおいて資源化が推進され、当初より倍増したが目標は達成出来なかった。

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	循環型社会の構築を目的に、啓発活動や広報活動、生ごみ処理容器等の購入助成や紙ごみの資源化促進によるごみ減量化、広島中央エコパークでの溶融物の資源化などに取組み、市民一人1日当たりのごみ排出量の削減や資源化の促進を図った。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	家庭系一般廃棄物の収集運搬やふれあい収集、有価物の回収、剪定枝の資源化などについて、業務委託により効率的かつ適正な方法で実施した。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	資源化率について、商品の簡易包装化や新聞・雑誌の発行部数の減少、店頭での資源回収、中古品をリサイクルショップやフリマアプリに出品するなど、ごみとして出さない3Rの取組みが増えており、全国的に減少傾向にある。

10 総合評価

総合評価	<総評>
B	外的要因の影響で資源化率が低下したものの、減量化・資源化に関する施策の効果により、ごみの総排出量が減少したため、市民一人1日当たりのごみ排出量が減少した。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
市民一人1日当たりのごみ排出量は前年度と比較して減少しているものの、事業系ごみについては、横ばいである。	啓発活動により減量化・資源化を図るとともに、組成分析の結果を受け、排出量に占める紙ごみ・生ごみの割合が高いことから、事業系ごみについては紙ごみの資源化と、家庭系ごみについては生ごみの減量化に関する取組みを重点的に進めていく。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	① 循環型社会の構築

事業の概要						
戦略	1	一般廃棄物の適正処理	予算	1,456,867 千円	決算	1,270,470 千円
事務事業	1-1	一般廃棄物適正処理事業	予算	1,427,009 千円	決算	1,243,438 千円
内容						
1-1_一般廃棄物の適正処理						
① ごみ出し支援 (30,424 千円)						
ア ごみ指定袋の無料交付						
2歳未満の子の養育者、公的支援措置として紙おむつの交付を受けている障がい者等を対象に「ごみ指定袋」を無料交付した。						
・ 交付数：2,089 件						
イ ふれあい収集の実施 (うち 26,950 千円)						
ごみ出しが困難な一人暮らし等の高齢者や障がい者を対象に、ごみの戸別回収及び希望に応じ安否確認を実施した。						
・ 利用世帯数：574 世帯 (うち安否確認 129 世帯)						
ウ ライター・電池の拠点回収 (うち 613 千円)						
・ 回収量：13.4 t						
エ ごみステーション収集用ボックス等整備補助 (うち 2,861 千円)						
ごみの適正排出と生活環境の保全を図るため、ごみ収集用ボックス又はごみ散乱用防止ネットを新たに整備する自治会等に対し、必要な経費の一部を助成した。						
・ 補助件数：収集用ボックス 19 件、散乱防止用ネット 0 件						
② ごみの適正収集 (1,190,406 千円)						
ア ごみの収集 (うち 1,184,491 千円)						
(7) 市内約 3,000 か所のごみステーションからのごみを収集、運搬 (うち 953,447 千円)						
(イ) ごみ指定袋・処理券の作成、販売 (うち 231,044 千円)						
イ 一般廃棄物適正排出指導の実施 (うち 5,915 千円)						
(7) 適正排出指導員を 2 人配置						
(イ) ごみの適正排出を指導						
③ ごみの分別・収集方法の啓発 (0 千円)						
LINE 通知にてごみの収集日程を継続配信した。						
④ 液状一般廃棄物の収集支援 (22,608 千円)						
ア 安芸津地域の液状一般廃棄物収集業者への補助 (うち 22,608 千円)						
広島中央エコパーク稼働開始に伴い、し尿及び浄化槽汚泥収集運搬経路の延伸により増加する市民の負担を軽減するため、液状一般廃棄物収集業者へ補助を行った。						
補助額：収集量 1 リットルあたり 4 円 (市民の負担軽減)						

事業の概要						
戦略	1	一般廃棄物の適正処理	予算	1,456,867 千円	決算	1,270,470 千円
事務事業	1-2	環境美化及び保護事業	予算	29,858 千円	決算	27,032 千円
内容						
1-2_環境美化及び保護への取組み						
① 環境美化活動 (1,488 千円)						
ア きれいなまちづくりキャンペーンの実施 (うち 542 千円)						
6月の環境月間に合わせて、6月の第2日曜日を「環境美化の日」と定め、ごみのポイ捨て防止を重点に、市内一斉にごみ拾いキャンペーンを実施した。市内54会場（地域センター、小学校等）で開催した。						
令和6年6月9日（日）実施：参加人数 2,259 人、ごみ収集量約 1.3t						
			(市役所近辺)			
イ 環境美化強化地域の清掃 (うち 946 千円)						
環境美化強化地域の内、9地域の清掃業務を実施した。						
② 不法投棄防止活動 (20,000 千円)						
ア 不法投棄防止看板の製作 (うち 532 千円)						
不法投棄防止看板を作成し、不法投棄が発生する場所に設置を希望する市民に対して配布した。						
・看板：170枚作成 171枚配布						
イ 不法投棄パトロール及び不法投棄ごみの回収 (うち 19,126 千円)						
市内を4ブロックに分け不法投棄の監視パトロールを行い、不法投棄の防止啓発を行うとともに、不法投棄ごみを早期に回収し処理した。						
・ごみ回収量 73 t、回収箇所数 623 箇所（地域清掃回収を含む）						
			(不法投棄現場)			
ウ 不法投棄ごみの処理 (うち 342 千円)						
家電4品目、タイヤ、消火器等処理困難物の処理を行った。						
・処分量：家電4品目 57 個、タイヤ 185 本、消火器 51 本						
エ 不法投棄されない環境づくり (うち 0 千円)						

(7) 監視カメラの設置

- ・監視カメラ設置箇所：移動式カメラ 14 台を延べ 11 箇所

③ 公衆衛生推進団体の育成支援 (5, 544 千円)

ア 地域活動費補助 (うち 2,338 千円)

支部・地区ごとに実施した環境と健康に関する活動に対し支援を行った。

イ 環境活動費補助 (うち 3,206 千円)

環境保全監視員 90 名による不法投棄監視パトロール及びごみ収集に対する支援を行った。

事業の概要				
戦略	2	一般廃棄物の減量化の推進	予算 14,421 千円	決算 12,974 千円
事務事業	2-1	一般廃棄物減量化推進事業	予算 13,066 千円	決算 11,811 千円
内容				
2-1_一般廃棄物の減量化の推進				
① ごみの減量化の促進 (6,201 千円)				
ア ごみの減量化に関するコンテストの開催 (うち 932 千円)				
「インスタで発信！ごみ減量フォト&ムービーコンテスト」を開催し、計 8 件の応募があり、そのうち優秀作品 4 件を表彰した。				
イ 啓発活動の実施 (うち 0 千円)				
(7) ごみ減量化に係る啓発				
広島中央エコパークの施設見学通路に過去のコンテスト受賞作品や啓発パネル、生ごみ処理容器の実物等を展示した。				
(イ) 広報紙、FM 東広島等を活用した広報活動				
広報紙、東広島市ごみ減量【公式】インスタグラム、FM 東広島、マイトウン東広島を活用し、ごみの減量について周知を行った。				
ウ ごみ減量出前講座の開催 (うち 0 円)				
3 R 推進、広島中央エコパーク、ごみ分別種等に関する講座を開催した。				
【活動指標】				
開催回数：目標 20 回 ⇒ 実績 10 回、参加人数 202 人				
【成果・課題】				
<p>コロナ禍以降、開催回数の減少傾向が続いている。講座内容を工夫するなどし、多世代に興味を持ってもらえるよう努めていく。</p>				
エ 生ごみ処理容器等の購入費助成・貸出し (うち 4,600 千円)				
【拡】 (7) 生ごみ処理容器等の購入費助成に係る利便性の向上 (うち 4,589 千円)				
家庭用のコンポストや電気式処理機の購入助成制度に係る申請手続きを購入前申請から購入後申請へ変更することで利便性を向上させる。				
		対象	補助内容	
		生ごみ処理容器 (コンポスト、かばん型、キエーロ等)	補助率	
			2 分の 1	
			補助限度額	
			10,000 円	
【活動指標】				
生ごみ処理容器等購入費助成：目標 330 個 ⇒ 実績 246 個				
(内訳) 生ごみ処理機 168 個、小型剪定枝破砕機 17 個、				
生ごみ処理容器 59 個 (うちキエーロ 5 個)、				
かばん型コンポスト容器 2 個				

【成果・課題】

申請手続きを簡素化したことで、生ごみ処理容器等（小型剪定枝破砕機を含む）の申請件数が大幅に増加すると見込み、目標を 330 個としていたが、実績は 246 個であった。今後は、さらなる利便性の向上を図るため電子申請の導入や助成制度の広報周知に努める。

(イ) 生ごみ処理機の貸出し（うち 11 千円）

- ・電気式生ごみ処理機の貸出：延べ 34 個

オ 生ごみ処理容器利用講習会の実施（うち 669 千円）

消滅型生ごみ処理容器（キエーロ）に係る講習会を開催するとともに、参加者には自身の体験や感想について SNS で発信してもらうことで、キエーロを利用したごみ減量化に関する普及啓発を図った。

- ・参加世帯：30 世帯
- ・投稿数：161 件

② 一般廃棄物の分析調査（5,610 千円）

ア 家庭系・事業系ごみのごみ質の分析

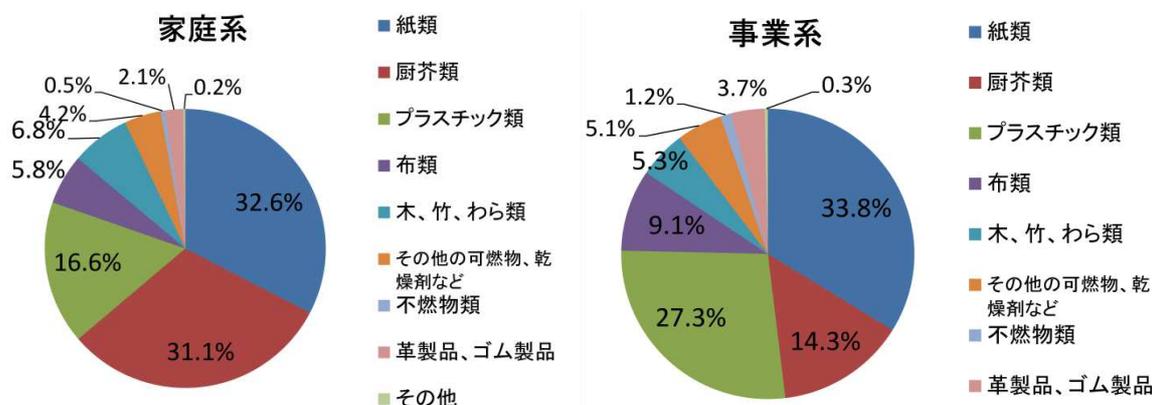
家庭系・事業系ごみのごみ質の分析（組成分析）を実施した。

【成果・課題】

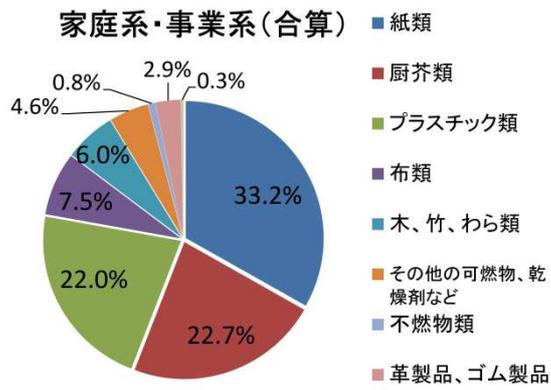
組成分析の結果、家庭系ごみと事業系ごみの両区分ともに紙ごみが最も多かった。次いで厨芥類（調理くず類）が家庭系ごみでは 2 番目、事業系ごみでも 3 番目に多かった。これまでは、厨芥類が最も多かったため、継続的に生ごみ減量化の取組みを推進してきたが、その効果が表れ始めたと考えられる。

今後は、紙類の資源化の取組みを、より一層推進していく必要がある。

引き続き、ターゲットを明確化することで、効果的にごみの減量化及び資源化を促進していく。



事業の概要



(ごみ組成分析結果)



(ごみの分類作業)



(分類されたごみ)

事業の概要				
戦略	2	一般廃棄物の減量化の推進	予算 14,421 千円	決算 12,974 千円
事務事業	2-2	食品ロス削減推進事業	予算 1,355 千円	決算 1,163 千円

内容

2-2_食品ロス削減の推進

① 食品ロス削減啓発の取組み (962 千円)

ア 食品ロスゼロ運動の実施 (うち 590 千円)

食品ロス削減に係る川柳等の募集及びパンフレットの配布等を行った。



(食品ロス川柳コンテスト表彰式)

イ 食品ロス削減協力店への取組み (うち 372 千円)

食品ロス削減に係る啓発グッズやポスターを配付した。

② フードドライブの実施 (201 千円)

事業ポスター270 枚作成・新聞広告掲載等により周知を行い、食品ロスになる可能性の高い食品を回収し、福祉施設等でご活用いただくフードドライブ事業を実施した。

- ・ 寄贈者数 10 者、個数 90 個、29kg
- ・ 対象：子ども食堂等、市内 4 事業所



(フードドライブで集まった食品)

事業の概要				
戦略	3	資源化の促進	予算 42,994 千円	決算 28,915 千円
事務事業	3-1	資源化促進事業	予算 42,994 千円	決算 28,915 千円
内容				
3-1_ゼロエミッション（資源循環）の推進				
① 食品残さ等の資源化支援（2,906 千円）				
ア 飲食料品等小売業者が行う食品残さの資源化への支援（うち 958 千円） 飲食料品等小売業が行う食品残渣の資源化に要する費用に対して補助を行った。				
・対象事業者：5 店舗				
イ ミミズコンポストの活用によるたい肥化の啓発（うち 1,948 千円）				
・新規設置：3 団体				
② 資源回収団体等への活動支援（12,133 千円）				
資源回収を実施する団体へ回収量に応じた報償金を交付した。				
・交付団体：195 団体				
・報償金額合計：11,998 千円				
③ 有価物の回収促進（3,388 千円）				
ア 古布・古着・小型家電の拠点回収（うち 3,388 千円）				
市役所本庁・支所・出張所等の拠点において古布・古着・小型家電を回収した。				
・回収量：古布・古着 87.1 t、小型家電 14.2 t				
イ おさがりコーナーの運営				
市内子育て施設で、子どもの成長に伴って着られなくなった子ども服を募り、他者へ無料で譲るリユース事業の立ち上げ支援を行った。				
・市内子育て施設 3 箇所、リユース量 35kg				
④ 剪定枝の資源化促進（9,109 千円）				
剪定枝破砕車（タウンビーバー）を利用者宅等へ派遣した。				
【活動指標】				
利用件数：目標 210 件 ⇒ 実績 213 件				
【成果・課題】				
R3 年度 159 件、R4 年度 179 件、R5 年度 193 件、R6 年度 213 件と派遣件数は年々増加している。				
主な要因は周知活動の成果と利便性の高さであると考えており、今後も、周知と併せて啓発活動を継続していく必要がある。				
【新】⑤ 紙ごみの資源化の推進（479 千円）				
12 月 16 日の「紙の記念日」に事業所で発生した紙ごみを資源化体験するイベントを行うなど、大量の紙ごみを広島中央エコパークへ自己搬入している事業者をターゲットに、事業者が自発的に取組む紙ごみの資源化を支援した。				
件数：13 件 量：21 t				

事業の概要

- 【新】⑥ ペットボトルの水平リサイクルによる付加価値の創造（666 千円）
啓発チラシの新聞折込み及び啓発パネルを作成し、市民の意識醸成を促進した。
- ⑦ 廃棄物減量化等推進員の活動支援（234 千円）
廃棄物減量化等推進員（リサイクル推進員 68 名）を対象に、ごみ減量化・資源化の活動事例の紹介や、情報交換を通じた各地域での取り組みの促進を図った。

令和 6 年度 目的別事業群総括管理（決算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H30年度）	目標値（R6年度）
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 水の安定供給	主管部局・所属	生活環境部 生活衛生課
関係部局・所属	地域振興部 豊栄支所地域振興課	地域振興部	河内支所地域振興課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	安全で良質な水を安定的に供給する。	現状	施設の老朽化が進んでおり、将来に向けて多くの課題がある。	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	専用水道施設、飲料水供給施設の持続可能性を確保する必要がある。	専用水道施設、飲料水供給施設の維持管理	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7		
(7) 水の年間安定供給日数(計画修繕等による停止を除く)	365 (R4)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	366	365	365	365 (R6)	日
			364	364		99.7%	
			99.5%	99.7%			
(4)	()				()		
(5)	()				()		

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度		16,541		16,539		2,233千円
		14,495		14,856		
R6年度		26,067		12,801		
		24,257		11,233		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	4・1・4 専用水道等運営事業	生活衛生課	0.35	16,541	26,067
				16,539	12,801
合計			0.35	16,541	26,067
				16,539	12,801

7 R6事業費の分析 (差額＝「R6年度当初予算額」－「R6年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	13,266千円	分析	予定していたポンプ設備修繕を緊急対応で前年度に前倒しで行ったほか、備品購入等で入札残が生じたこと、修繕機器の調達に不測の日数を要するため繰越を行ったことが主な要因である。
----	----------	----	---

8 R6成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	99.7%	分析	利用者が水を出したままにしていたことによる断水が1日発生したため、未達成となっている。
-------	-------	----	---

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	施設の適切な維持管理を行うことで、水の安定供給に寄与している。施設の老朽化等により設備の故障が発生するおそれがあることから、着実に修繕・更新を進めていく必要がある。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	維持管理や料金収納事務を業務委託により効率的に運営している。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	利用者が水を出したままにしていたことにより断水が発生した。

10 総合評価

総合評価	A	<総評>
		安全で良質な水を安定的に供給するため、適切な維持管理に努めた。断水が発生し1年を通じての安定した水の供給が出来なかったが、利用者原因によるものであった。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
専用水道施設、飲料水供給施設の利用者に対し、安全な水の安定供給を持続させる必要があるため、適切な維持管理が必要である。	→ 専門的業務の部分については業者に委託し、また、重大な故障等の予防のための計画的な修繕を行い、事業に関して広島県水道広域連合企業団の協力を得るなどにより、適切な維持管理を行う。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	② 水の安定供給

事業の概要			
戦略	1 専用水道施設、飲料水供給施設の維持管理	予算 26,067 千円	決算 12,801 千円
事務事業	1-1 専用水道等運営事業	予算 26,067 千円	決算 12,801 千円
内容			
1-1_専用水道施設、飲料水供給施設の維持管理			
① 専用水道等運営事業の推進（12,801 千円）			
<p>豊栄中央住宅団地専用水道施設、河内町大仙地区飲料水供給施設について適切に維持管理を行い、安全で良質な水を安定的に供給することに努めたが、利用者原因による断水が発生する事案があった。</p> <p>【活動指標】</p> <p>水の年間安定供給日数：365 日⇒364 日</p> <p>ア 豊栄中央住宅団地専用水道施設の管理運営（うち 6,754 千円）</p> <p>(ア) 水道企業団委任事務（維持管理業務、水道使用料徴収事務）</p> <p>(イ) 水質検査業務</p> <p>(ウ) 受水槽、浄水設備施設管理業務</p> <p>(エ) 水道施設の毎日水質検査、毎日施設点検業務</p> <p>(オ) 消耗品費、光熱水費、通信運搬費、修繕料、備品購入費等</p> <p>・鍛冶屋取水ポンプ購入等</p> <p>イ 河内町大仙地区飲料水供給施設の管理運営（うち 6,047 千円）</p> <p>(ア) 水道企業団委任事務（維持管理業務、水道使用料徴収事務）</p> <p>(イ) 水質検査業務</p> <p>(ウ) 受水槽、浄水設備施設管理業務</p> <p>(エ) 水道施設の毎日水質検査、毎日施設点検業務</p> <p>(オ) 消耗品費、光熱水費、通信運搬費、修繕料等</p> <p>・配水池内面防触塗布修繕等</p> <p>【成果・課題】</p> <p>河内町大仙地区飲料水供給施設において、令和7年2月に断水が発生した。原因は、利用者が散水栓を開いたままにしていたことから配水池の水が無くなったためであり、利用について指導を行った。</p> <p>緊急の故障等があった場合には、早期復旧を図るため業者等への依頼や、復旧までの間の飲料水配付を行うなどの対応が求められるが、不具合が発生する前に、老朽化しているポンプ等の計画的な修繕が必要である。</p>			

令和 6 年度 目的別事業群総括管理（ 決算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	3 快適な生活環境の形成
施策の将来の目標像	一般廃棄物の減量化と資源化推進等により循環型社会が構築されるとともに、市民の生活に不可欠な安全な水の提供や、公共用水域の水質保全による安全で快適な生活基盤・環境が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値（H30年度）	目標値（R6年度）
	市民一人1日当たりのごみ排出量	986g	850g
	汚水処理人口普及率	86.1%	91.9%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	③ 公共用水域の水質保全	主管部局・所属	下水道部 下水道管理課
関係部局・所属	地域振興部 河内支所地域振興課	生活環境部	生活衛生課
	下水道部 下水道建設課	下水道部	下水道施設課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市域の汚水を適正に処理し、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。	現状	東広島市汚水適正処理構想に基づき、下水道整備事業及び小型浄化槽設置整備事業を進めているが、単独浄化槽・くみ取り槽の件数が多数残り、生活雑排水が未処理のまま公共用水域に入っている。		
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.	
下水道未普及地域の早期解消と今後到来する下水道処理施設等の老朽化に伴う改築需要の増加に対応していく必要がある。	下水道事業の推進	中	1		
下水道等整備区域外から発生する生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する必要がある。	浄化槽設置整備の促進	中	2		
河内町小田地区に設置した特定地域生活排水処理施設を適切に管理する必要がある。	特定地域生活排水処理施設の運営管理	中	3		

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7		
(ア) 下水道処理人口普及率	47.2 (H30)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	52.3	53.4	54.6	53.4 (R6)	%
			48.3	49.1		91.9%	
			92.4%	91.9%			
(イ) 小型浄化槽設置基数(改築分)	92 (H30)		130	130	130	130 (R6)	基
			98	71		54.6%	
(ウ) 法定検査受検率	76.7 (H30)		78.3	78.5	78.7	78.5 (R6)	%
			76.6	79.7		101.5%	

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	一般会計等	R5年度		R6年度		
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	
目的別事業群事業費(千円)	事業費	117,236	89,956	119,769	65,008	
		一般財源	43,146	19,891	45,552	37,505
	人件費	R5年度		R6年度		
				344,010千円		
	公営企業会計	R5年度		R6年度		
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算額	
		収益的収入	5,900,348	5,015,909	5,822,754	5,515,010
		収益的支出	5,625,899	4,768,838	5,376,106	5,062,749
		差引	274,449	247,071	446,648	452,261
		当年度純利益(又は純損失)	△ 16,054	137,621	143,460	116,664
		資本的収入	4,635,523	2,415,695	4,228,811	4,687,274
		資本的支出	6,363,400	3,533,687	5,972,188	6,806,441
	差引	△ 1,727,877	△ 1,117,992	△ 1,743,377	△ 2,119,167	
	人件費	R5年度		R6年度		
		427,164千円				

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款項目_事務事業	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	下水道事業【下水道事業】	下水道部	51.67	11,989,299	11,348,294
2-1	4・1・4 浄化槽設置整備事業	生活衛生課	1.90	106,433	108,514
				79,840	54,323
3-1	1・1・1 特定地域生活排水処理施設管理事業【特排特会】	生活衛生課	0.35	10,803	11,255
				10,116	10,685
合計			53.92	12,106,535	11,468,063
				8,392,481	11,934,198

7 R6事業費の分析 (差額 = 「R6年度当初予算額」 - 「R6年度決算額」)

※決算額には繰越を含む。

差額	-466,135千円	分析	下水道事業においては、令和5年度の一部事業を繰越したことにより決算額が当初予算額を上回る結果となった。浄化槽設置整備事業においては、補助金交付額が当初予算を下回ったことが主な要因である。
----	------------	----	---

8 R6成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	82.7%	分析	下水道事業においては、下水道処理区域内人口は昨年度より増加しているものの、計画に比して整備進捗が低下しているため目標値を下回っている。また、浄化槽設置整備事業においては、社会情勢等により、汲取りや単独浄化槽からの転換が前年度から減少し、目標値を下回っている。
-------	-------	----	---

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	公共用水域の水質保全を目的に下水道の整備推進や小型浄化槽の設置促進に取り組んだが、汚水処理人口普及率等の目標値の達成には至らなかった。目標達成には更なる効果的な整備計画を検討する必要がある。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	下水道事業においては、終末処理場建設を日本下水道事業団へ委託することにより効率的な事業進捗が図られているが、管渠整備については、汚水適正処理構想を見直すことにより整備の効率性が向上する可能性がある。浄化槽設置整備事業においては、国・県補助を受けて実施しているほか、法定検査受検率向上のための現況調査・普及啓発活動を委託により実施している。
外的要因	外的な要因による影響があったのか。	下水道事業においては、管渠整備費用の財源である社会資本整備総合交付金が要望どおり配分されなかったことにより、整備の進捗が低下した。浄化槽設置整備事業においては、高齢化や費用負担が原因で、汲取りや単独浄化槽からの転換が進まない状況がある。

10 総合評価

総合評価	B	<総評>
		下水道事業においては、令和5年度に未普及解消整備計画を見直し、進捗回復を図っているが、下水道処理人口普及率の目標値を下回る結果となった。浄化槽設置整備事業においては、高齢化や費用負担が原因で、小型浄化槽設置基数(改築分)の目標値を下回っている。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
本市の下水道処理人口普及率は、国や県に比べ低い状況にあり、下水道未普及地域のより一層の整備推進が必要である。単独浄化槽設置者は、既に水洗化されていることから、合併浄化槽に改築する意識が低い傾向にあるため、継続した啓発が必要である。	管渠整備の遅れに対しては、令和7年度から汚水適正処理構想の見直しを行い、下水道、浄化槽それぞれが有する特性、経済性等を総合的に勘案して人口減少等の社会情勢の実情に応じた効率的かつ適正な汚水処理手法を検討することで改善を図る。単独浄化槽設置者に個別案内を行うなど、補助制度の周知を図る。また、国や県に対して補助制度の継続・強化を引き続き要望していく。

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	3 快適な生活環境の形成	③ 公共用水域の水質保全

事業の概要						
戦略	1	下水道事業の推進	予算	11,348,294 千円	決算	11,869,190 千円
事務事業	1-1	下水道事業 【下水道事業】	予算	11,348,294 千円	決算	11,869,190 千円
内容						

下水道事業会計

1-1_下水道事業の効率化、経営健全化の取組み

① 下水道経営の健全化 (1,741,542 千円)

下水道サービスを継続して安定的に提供していくため、施設の適切な維持管理、使用料の収納率向上のための滞納整理、未接続者への普及啓発活動に取り組んだことにより、経営の健全性を示す経常収支比率が 100%を上回った。

- ・ 処理場管理 (うち 1,496,346 千円)
- ・ 管渠、ポンプ場管理 (うち 158,661 千円)
- ・ 使用料徴収事務委託 (うち 83,675 千円)
- ・ 水洗便所改造資金貸付金 (うち 2,860 千円)

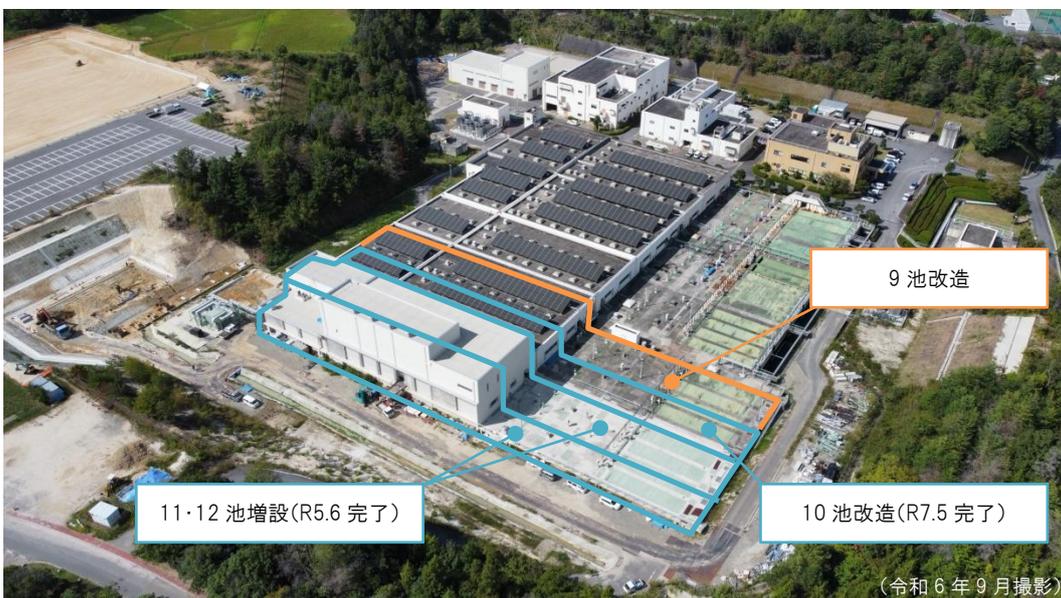
② 計画的、効率的な施設の建設と更新 (4,731,420 千円)

ア 東広島浄化センター改造工事 (うち 1,854,869 千円)

流入水質の変化に対応するため東広島浄化センターの改造工事を行っており、令和 8 年度の完成に向け順調に進捗している。

- ・ 東広島浄化センター10 池改造の土木建築、機械電気工事等 (概算事業費 3,840,000 千円 (9、10 池改造))

年度	R4	R5	R6	R7	R8
10 池改造	設計	工事			
9 池改造				工事	



事業の概要

イ 未普及解消整備計画に基づく污水管渠整備工事（うち 2,156,204 千円）

早期に未普及地域を解消するため、下水道未普及解消整備計画に基づき污水管渠の整備を行い、下水道処理人口普及率を向上させた。

- ・ 污水管渠実施設計業務（うち 172,011 千円）
- ・ 污水管渠等建設工事（うち 1,940,701 千円）
- ・ 污水管渠建設工事（工事負担金）（うち 43,492 千円）

※西条第二地区道路工事、八本松駅前土地区画整理事業等合併施工分

【活動指標】

令和 6 年度未普及地域の污水管渠建設工事着手延長：9,979m
⇒7,547m

【成果・課題】

当初は、未普及地域の污水管渠建設工事着手延長を 9,979m と見込んでいたが、整備費用の財源である社会資本整備総合交付金が要望どおり配分されなかったこと等により、工事着手延長の実績は 7,547m に留まった。

今後は、必要財源の確保を強く県、国に要望するとともに、効率的な整備のため污水適正処理構想を改定し、整備進度の向上を図る。

ウ スtockマネジメント計画に基づく施設更新（うち 536,300 千円）

ストックマネジメント計画に基づく施設の更新を行い、持続的、安定的に下水道サービスを提供するため、施設の健全化を図った。

- ・ スtockマネジメント実施設計業務（うち 0 千円）
- ・ スtockマネジメント工事（うち 536,300 千円）

エ 污水管渠の改築（うち 184,047 千円）

雨天時不明水による処理水量の増加を抑制するため、污水管渠の改築を行い施設の健全化を図った。

- ・ 板城地区農業集落排水管渠実施設計業務（うち 54,008 千円）
- ・ 板城地区農業集落排水管更生等改築工事（うち 130,039 千円）

③ 災害に強い下水道の構築（23,535 千円）

ア 下水道施設の耐震対策（23,535 千円）

既存の下水道施設が有する耐震性能を把握するための耐震診断業務や、耐震実施設計業務を行った。今後、これらの結果に基づき施設の耐震化を進めていく。

- ・ 東広島浄化センター耐震診断業務（うち 0 千円）
- ・ 黒瀬水質管理センター実施設計業務（耐震・耐水）（うち 7,950 千円）
- ・ 管路施設耐震診断調査業務（うち 15,585 千円）

※決算額が 0 千円の事業は、財源である社会資本整備総合交付金が要望どおり配分されなかったことにより事業実施を見送った。

事業の概要						
戦略	2	浄化槽設置整備の促進	予算	108,514 千円	決算	54,323 千円
事務事業	2-1	浄化槽設置整備事業	予算	108,514 千円	決算	54,323 千円
内容						
2-1_浄化槽設置整備の促進						
① 浄化槽設置整備の促進 (54,323 千円)						
ア 小型浄化槽設置補助 (改築) (うち 25,398 千円)						
単独浄化槽又はくみ取り槽から合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、設置費用の一部を補助した。						
【活動指標】						
小型浄化槽設置基数：130 基⇒71 基						
浄化槽 区分	補助限度額	申請基数	交付額	国補助金 (1/2)	県補助金 (1/3)	
5 人槽	332 千円	52 基	17,264 千円	8,632 千円	5,755 千円	
7 人槽	414 千円	17 基	7,038 千円	3,519 千円	2,346 千円	
10 人槽	548 千円	2 基	1,096 千円	548 千円	365 千円	
合計		71 基	25,398 千円	12,699 千円	8,466 千円	
【成果・課題】						
<p>目標値を 130 基としていたが、71 基の申請であった。申請数は前年度の 98 基から 27 基減少した。</p> <p>公共用水域の水質保全のため、合併浄化槽への切り替えの必要性や補助制度の啓発を行い、制度の利用につなげる必要がある。</p>						
イ 単独浄化槽・くみ取り槽転換に伴う槽撤去・配管工事費補助 (うち 24,120 千円)						
単独浄化槽又はくみ取り槽から合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、槽の撤去費用、配管工事費用の一部を補助した。						
区分	補助限度額	申請基数	交付額	国補助金 (1/2)		
単独浄化槽撤去	120 千円	10 基	1,200 千円	600 千円		
くみ取り槽撤去	90 千円	28 基	2,520 千円	1,260 千円		
配管工事	300 千円	68 基	20,400 千円	10,200 千円		
合計			24,120 千円	12,060 千円		
ウ 人口減少地域における定住促進に対する補助 (うち 3,500 千円)						
補助金交付対象区域内で、人口減少地域に所在する単独浄化槽又はくみ取り槽から合併浄化槽へ切り替える個人住宅に対し、設置費用、槽の撤去費用、配管工事費用の一部を補助した。						
区分	補助限度額	申請基数	交付見込額			
人口減少対策	100 千円	35 基	3,500 千円			
エ 浄化槽の法定検査の受検推進等 (うち 1,305 千円)						
(7) 法定検査受検指導						

事業の概要						
法定検査の未受検者等を対象に、受検指導を実施した。 (イ) 浄化槽現況調査、普及啓発 浄化槽の現況調査、普及啓発活動を実施した。 【活動指標】 法定検査受検率：78.5%⇒79.7%（速報値）						
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (速報値)
受検率(%)	76.3	76.2	77.5	77.8	76.6	79.7
【成果・課題】						
未受検者への勧奨、指導、新規浄化槽利用者に対して受検指導を行ったことにより、令和5年度の全国平均(49.8%)、広島県(74.7%)を超える数値を維持している。 公共用水域の水質保全のためには受検率が高いことが望ましく、引き続き受検率の向上に努める必要がある。						

事業の概要			
戦略	3	特定地域生活排水処理施設の運営管理	予算 11,255 千円 決算 10,685 千円
事務事業	3-1	特定地域生活排水処理施設管理事業【特排特会】	予算 11,255 千円 決算 10,685 千円
内容			
3-1_特定地域生活排水処理施設の運営管理 ① 特定地域生活排水処理施設の管理運営（10,685 千円） 河内町小田地区に設置した特定地域生活排水処理施設を適切に運営・維持管理した。 （対象 132 基、うち 124 基が稼働中 ※令和7年3月末時点）			

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	4 豊かな自然環境の保全
施策の将来の目標像	地域の自然環境の持つ価値や機能が十分に認識され、豊かな自然環境を維持・保全することで、市民の健康で快適な暮らしが維持され、自然と調和した潤いのある社会が形成されています。		
施策の数値目標	指標	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
	「良好な水辺環境などの水資源があるまち」として満足している市民の割合	25%	60%
	「空気のきれいさ」に対して満足している市民の割合	70%	90%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 豊かな自然環境の保全	主管部局・所属	生活環境部 生活衛生課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	良好な生活環境の保全や生物多様性の維持	現状	市民の環境意識の低下への懸念	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	市街化の進展に伴う環境悪化が懸念される	環境汚染の未然防止	高	1
	犬・猫に関する苦情が多く、適正な飼養と飼い主のマナー向上を図る必要がある	犬・猫の適正な飼養の促進	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7		
(7) 環境基準達成率	86.7 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	89.0	90.0	90.0	90.0 (R6)	%
			91.7	93.9		104.3%	
			103.0%	104.3%			
(1) 狂犬病予防注射接種率	75.0 (R1)		77.4	78.0	78.0	78.0 (R6)	%
			77.3	72.4		92.8%	
			99.9%	92.8%			
(7)	()					()	

5 コスト情報

目的別 事業群 事業費 (千円)	R 5 年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
		41,617		37,202		34,516千円
		15,622		11,571		
	R 6 年度	41,323		56,265		
		15,334		26,959		

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	4 豊かな自然環境の保全	① 豊かな自然環境の保全

事業の概要																								
戦略	1 環境汚染の未然防止	予算 30,177 千円	決算 46,260 千円																					
事務事業	1-1 環境保全事業	予算 30,177 千円	決算 46,260 千円																					
内容																								
1-1_環境汚染の未然防止																								
① 環境監視による地域環境の維持・向上 (43,844 千円)																								
ア 環境監視の実施 (うち 16,977 千円)																								
<p>大気・水質・騒音などの環境調査を実施し、環境を監視する。調査結果を環境白書やホームページで公表した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共用水域水質調査</td> <td>黒瀬川や沼田川等の河川、及び地下水の水質調査を行った (28 地点)。</td> <td>5,940 千円</td> </tr> <tr> <td>大気環境調査測定</td> <td>市役所等の測定場所で大気中の汚染物質の測定を行った (13 地点)。</td> <td>4,531 千円</td> </tr> <tr> <td>自動車騒音常時監視及び環境騒音調査</td> <td>市内の自動車騒音や環境騒音の実態を調査し、騒音公害防止のための基礎資料とした。(自動車騒音 13 路線、環境騒音 115 地点)</td> <td>4,161 千円</td> </tr> <tr> <td>工場排水水質検査</td> <td>工場等の特定施設に立ち入り調査し、公共用水域に排出される放流水の確認や指導を行った (のべ 95 事業所)。</td> <td>1,844 千円</td> </tr> <tr> <td>臭気指数測定調査</td> <td>調査を必要とする悪臭の発生が確認されなかったため測定しなかった。</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>その他事務</td> <td>環境監視に使用する消耗品等を購入した。</td> <td>501 千円</td> </tr> </tbody> </table>				項目	内容	事業費	公共用水域水質調査	黒瀬川や沼田川等の河川、及び地下水の水質調査を行った (28 地点)。	5,940 千円	大気環境調査測定	市役所等の測定場所で大気中の汚染物質の測定を行った (13 地点)。	4,531 千円	自動車騒音常時監視及び環境騒音調査	市内の自動車騒音や環境騒音の実態を調査し、騒音公害防止のための基礎資料とした。(自動車騒音 13 路線、環境騒音 115 地点)	4,161 千円	工場排水水質検査	工場等の特定施設に立ち入り調査し、公共用水域に排出される放流水の確認や指導を行った (のべ 95 事業所)。	1,844 千円	臭気指数測定調査	調査を必要とする悪臭の発生が確認されなかったため測定しなかった。	0 千円	その他事務	環境監視に使用する消耗品等を購入した。	501 千円
項目	内容	事業費																						
公共用水域水質調査	黒瀬川や沼田川等の河川、及び地下水の水質調査を行った (28 地点)。	5,940 千円																						
大気環境調査測定	市役所等の測定場所で大気中の汚染物質の測定を行った (13 地点)。	4,531 千円																						
自動車騒音常時監視及び環境騒音調査	市内の自動車騒音や環境騒音の実態を調査し、騒音公害防止のための基礎資料とした。(自動車騒音 13 路線、環境騒音 115 地点)	4,161 千円																						
工場排水水質検査	工場等の特定施設に立ち入り調査し、公共用水域に排出される放流水の確認や指導を行った (のべ 95 事業所)。	1,844 千円																						
臭気指数測定調査	調査を必要とする悪臭の発生が確認されなかったため測定しなかった。	0 千円																						
その他事務	環境監視に使用する消耗品等を購入した。	501 千円																						
【成果・課題】																								
<p>大気質及び騒音はほぼ環境基準を達成した一方で、水質は、黒瀬川水系の一部で環境基準を超過した。人口に対し河川水量が少ないことが一因と考えられる。水質の悪化を防ぐために、引き続き水洗化率の向上や、汚水処理施設の適切な管理に向けた啓発や監視指導が必要である。</p>																								
イ 環境審議会の運営 (うち 307 千円)																								
<p>第 2 次東広島市環境基本計画の令和 5 年度の進捗状況、東広島市太陽光発電設備の適正な設置に関する方針(案)、東広島市における動物の適正飼養等に関する方針(案)などについて報告し、評価や提言を受けた。</p>																								
ウ PFOS 及び PFOA 対策 (うち 26,560 千円)																								
<p>PFOS 等の指針値超過エリアにおいて、水道敷設による PFOS 等の暴露防止策を講じた。また、PFOS 等調査検討委員会の意見を参考に河川や地下水の水質モニタリングを実施した。</p>																								

事業の概要

項目	内容	事業費
PFAS 調査検討委員会	委員会を2回開催し、調査モニタリングに対する意見を聴いた。	150 千円
PFOS 及び PFOA 調査	PFOS 等の指針値超過エリアにおいて、河川や地下水の水質をモニタリングした。	2,547 千円
水道本管敷設工事設計	PFOS 等の指針値超過エリア内で仮設水道管の本設化に向けた設計を行った。	2,852 千円
上水道配水管布設事業補助	飲用井戸から暫定指針値を超過する PFOS 等が検出された水道未接続世帯に対し、水道敷設工事費の一部を補助した。	20,284 千円
給水装置設置資金貸付	給水装置設置工事要する経費の貸付制度を設けたが、利用者はなかった。	0 千円
ミネラルウォーター配布	暫定指針値超過エリアの水道未接続世帯に対し、水道が敷設されるまでの間、ミネラルウォーターを配布した。	507 千円
国への要望活動	広島県と連携し、関係大臣に対し要望活動を行った。	220 千円

【成果・課題】

PFOS 等指針値超過エリア内の水道未接続世帯すべてに水道を敷設し、河川や地下水中の PFOS 等のモニタリングを実施した。引き続き、PFOS 等に関する情報を収集するとともに、国に対して適切な対応を要望する。

② 市民の環境意識の向上 (2,416 千円)

ア 各種啓発活動の継続

東広島の環境（環境白書）をとりまとめ、本市の環境調査結果や各主体の取組みを公表するとともに、出前講座や、ひがしひろしまこどもエコ探検隊等の環境学習の機会を充実させた。

(出前講座等参加人数)

(単位：人 []内は開催回数)

	R2	R3	R4	R5	R6
出前講座	484 [11]	252 [13]	948 [19]	601 [13]	1,095 [19]
エコ探検隊	80 [2]	22 [1]	135 [4]	112 [4]	208 [4]

【成果・課題】

出前講座は小学校の総合学習に向けたものが多いが、住民自治協議会や高等学校等、新たな申請も見られるようになった。令和6年度は広島大学の要望で小学校広域交流型オンライン学習も実施した。これら新規の出前講座を次年度以降も継続できるよう、プログラムの作成が必要である。

ひがしひろしまこどもエコ探検隊は、新たな募集の試みとして環境イベントにブースを設け、10分程度の短時間の講座を1回実施した。引き続き、多くの方が参加しやすい実施形態や内容を検討が必要である。

事業の概要																																																																																			
戦略	2	犬・猫の適正な飼養の促進	予算	11,146 千円	決算	10,005 千円																																																																													
事務事業	2-1	狂犬病予防事業	予算	11,146 千円	決算	10,005 千円																																																																													
内容																																																																																			
2-1_犬・猫の適正な飼養の促進																																																																																			
① 犬・猫の適正な飼養の促進 (10,005 千円)																																																																																			
ア 狂犬病予防の推進 (うち 3,427 千円)																																																																																			
<p>狂犬病予防注射接種率の向上のため、動物病院との連携や、集合注射の実施、全登録者への案内通知、未受診者への督促通知、広報啓発を行った。</p> <p>【活動指標】</p> <p>狂犬病予防注射接種率：78.0%⇒72.4%</p> <p>(狂犬病予防注射の接種状況) (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>注射の区分</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録数</td> <td>9,383</td> <td>9,597</td> <td>9,724</td> <td>9,968</td> </tr> <tr> <td>集合注射</td> <td>358</td> <td>395</td> <td>381</td> <td>338</td> </tr> <tr> <td>個別注射</td> <td>6,607</td> <td>6,605</td> <td>7,136</td> <td>6,878</td> </tr> <tr> <td>注射合計</td> <td>6,965</td> <td>7,000</td> <td>7,517</td> <td>7,216</td> </tr> <tr> <td>接種率</td> <td>74.2%</td> <td>72.9%</td> <td>77.3%</td> <td>72.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果・課題】</p> <p>狂犬病予防注射の接種率は、前年度比 4.9 ポイント下がった。原因としては、令和 6 年 3 月の予防接種数が増加し、令和 6 年 4 月以降の接種数が減少したため。</p> <p>引き続き飼い主に狂犬病予防注射の接種を促すための普及啓発を行い、接種率の向上に努める必要がある。</p>					注射の区分	R3	R4	R5	R6	登録数	9,383	9,597	9,724	9,968	集合注射	358	395	381	338	個別注射	6,607	6,605	7,136	6,878	注射合計	6,965	7,000	7,517	7,216	接種率	74.2%	72.9%	77.3%	72.4%																																																	
注射の区分	R3	R4	R5	R6																																																																															
登録数	9,383	9,597	9,724	9,968																																																																															
集合注射	358	395	381	338																																																																															
個別注射	6,607	6,605	7,136	6,878																																																																															
注射合計	6,965	7,000	7,517	7,216																																																																															
接種率	74.2%	72.9%	77.3%	72.4%																																																																															
イ 犬・猫など愛護動物の正しい飼い方の推進 (うち 1,888 千円)																																																																																			
<p>動物愛護についての普及・啓発のため、広島県、動物愛護ボランティアとの連携によるイベントの開催、譲渡犬猫の不妊去勢手術に係る経費の補助を行った。</p> <p>(犬猫譲渡会の参加人数) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R4</th> <th colspan="2">R5</th> <th colspan="2">R6</th> </tr> <tr> <th>6 月</th> <th>10 月</th> <th>6 月</th> <th>10 月</th> <th>6 月</th> <th>10 月</th> <th>6 月</th> <th>10 月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>中止</td> <td>2,000</td> <td>900</td> <td>1,700</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>1,300</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R3. 10 月、R4. 10 月は市主催「環境フェア」と同日開催。</p> <p>(譲渡犬猫の参加・成約数) (単位：頭)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R4</th> <th colspan="2">R5</th> <th colspan="2">R6</th> </tr> <tr> <th>6 月</th> <th>10 月</th> <th>6 月</th> <th>10 月</th> <th>6 月</th> <th>10 月</th> <th>6 月</th> <th>10 月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>犬参加</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>犬成約</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>猫参加</td> <td>—</td> <td>63</td> <td>63</td> <td>96</td> <td>45</td> <td>82</td> <td>45</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>猫成約</td> <td>—</td> <td>21</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>8</td> <td>17</td> <td>21</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>						R3		R4		R5		R6		6 月	10 月	6 月	10 月	6 月	10 月	6 月	10 月	人数	中止	2,000	900	1,700	1,000	1,000	1,300	1,000		R3		R4		R5		R6		6 月	10 月	犬参加	—	5	7	13	8	11	11	9	犬成約	—	2	2	5	3	3	3	3	猫参加	—	63	63	96	45	82	45	80	猫成約	—	21	17	16	8	17	21	14						
	R3		R4			R5		R6																																																																											
	6 月	10 月	6 月	10 月	6 月	10 月	6 月	10 月																																																																											
人数	中止	2,000	900	1,700	1,000	1,000	1,300	1,000																																																																											
	R3		R4		R5		R6																																																																												
	6 月	10 月	6 月	10 月	6 月	10 月	6 月	10 月																																																																											
犬参加	—	5	7	13	8	11	11	9																																																																											
犬成約	—	2	2	5	3	3	3	3																																																																											
猫参加	—	63	63	96	45	82	45	80																																																																											
猫成約	—	21	17	16	8	17	21	14																																																																											

事業の概要

(譲渡犬猫不妊去勢手術費補助金交付状況)

年度	R3	R4	R5	R6
申請数	12 件	16 件	20 件	29 件
補助額	1,148 千円	1,100 千円	566 千円	901 千円
犬	2 頭	10 頭	10 頭	11 頭
猫	86 頭	70 頭	26 頭	50 頭

ウ 野良犬・猫対策 (うち 4,690 千円)

(7) 野良犬対策 (うち 4,430 千円)

- ・広島県動物愛護センターとの連携による保護活動の実施
- ・野良犬保護器の貸出しによる保護・搬送

(保護器設置・搬送等の件数) (単位：件)

年度	R3	R4	R5	R6
件数	118	64	29	12

(1) 野良猫対策 (うち 260 千円)

- ・広島県が推進する地域猫活動についての広報等による周知
- ・地域猫活動を実施する地域と県との調整・協議
- ・地域猫活動団体への補助金交付

(地域猫活動団体申請数) (単位：件)

年度	H28～R2	R3	R4	R5	R6	計
件数	22	4	6	8	12	52

(地域猫活動費補助金交付状況)

年度	R3	R4	R5	R6
申請数	4 件	5 件	3 件	14 件
補助額	80 千円	100 千円	50 千円	260 千円

【成果・課題】

本市から広島県動物愛護センター（広島市、福山市、呉市は管轄外）へ収容される犬猫の数は年々減少している。

野良犬保護器の貸出しについて、保護数や設置要望の減少により設置、搬送等の数が減少している。

また、地域猫活動団体の申請数は昨年度から増加している。

犬猫の収容数は減少しているものの、犬は管轄内で最も多く、猫についても上位であることから、引き続き広島県動物愛護センターと連携するほか、地域の協力を得ながら野良犬・猫の課題に取り組む必要がある。

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上
施策の将来の目標像	共通の目的の実現や地域課題の解決のため、コミュニティ活動や地域の特性を踏まえた取組みが活発に展開され、多様な市民・団体等が相互に連携・協力しながら活動、活躍することにより、地域の持つ力が向上しています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H30年度)	目標値(R6年度)
	地域コミュニティ活動への参加率	67% *市民満足度調査	75%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	主管部局・所属	地域振興部 地域づくり推進課
関係部局・所属	地域振興部	地域政策課	産業部
			ブランド推進課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	市民協働のまちづくりによる地域力の向上	現状	住民の地域コミュニティ活動の参加率及び住民自治協議会の認知度が低い。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
住民自治協議会等の持続性の強化(担い手・後継者育成、加入促進等)に向けた支援が必要	住民自治協議会等の状況に応じた活動支援		高	1
老朽化した地域センターの改修、地区拠点施設の機能向上が必要	活動拠点の充実		低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7		
(7) 地域コミュニティ活動への参加率	67.0 (H30)		75.0	75.0	75	75.0	%
			72.1	75.2		(R6)	
			96.1%	100.3%		100.3%	
(4) 住民自治協議会の認知度	65.6 (R1)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	69.0	70.0	70	70.0	%
			70.1	68.2		(R6)	
			101.6%	97.4%		97.4%	
(ウ)	()				()		

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	
5年度		1,578,689		1,083,651		95,445千円
		546,354		448,042		
6年度		1,693,085		1,605,816		
		610,151		411,502		

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	5 市民協働のまちづくりによる地域力の向上	① 市民協働のまちづくりによる地域力の向上

事業の概要					
戦略	1 住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	予算	878,778 千円	決算	898,765 千円
事務事業	1-1 市民協働推進事業	予算	284,113 千円	決算	253,754 千円

内容

1-1_市民協働の推進

① 住民自治協議会等の持続可能な活動の支援（194,107 千円）

市民協働のまちづくりの更なる発展を図るための具体的な施策に取り組んだ。

ア 地域づくり推進交付金の交付（うち 180,081 千円）

地域を代表する組織である住民自治協議会が特色あるまちづくりに取り組むことを促進するために、地域づくり推進交付金を交付した。

イ 市民協働のまちづくり活動応援補助金の交付（うち 9,364 千円）

市民活動団体等が行う地域の課題解決及び魅力向上につながる公益的な活動に対し、補助金を交付することで、市民協働のまちづくりを推進した。



ブルバール周辺の整備／広島シオジ会
（学生団体支援）



夏休みスケッチ大会／NPO 法人白市町家保存会（市民活動団体支援）

R6 市民協働のまちづくり活動応援補助金 採択事業

ウ 市民協働のまちづくり講演会等の開催（うち 322 千円）

市民協働のまちづくりの全国的な先進的な事例を学び、共有する「まちづくり講演会」を開催した。

事業の概要



まちづくり講演会の様子

【新】エ 地域コーディネーターの導入（うち 4,340 千円）

集落支援員制度を活用して、地域コーディネーターを配置し、地域の魅力向上や課題解決の支援等に取り組んだ。

② 担い手の発掘（20,412 千円）

都市地域から地域おこし協力隊員を過疎地域等に呼び込み、地域の課題解決や魅力創造などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住、定着を図った。

ア 地域おこし協力隊の配置と活動支援（うち 19,412 千円）

隊員の地域協力活動を伴走的に支援するとともに、任期を終える隊員の後任を募集した。

【令和6年度配置状況（令和7年3月31日時点）】

志和町、福富町、豊栄町、安芸津町 各1名



地域おこし協力隊員の活動の様子

（左上：福富町、右上：安芸津町、左下：豊栄町、右下：志和町）

イ 定住のための起業等支援（うち 1,000 千円）

任期終了後も引き続き本市に定住し、起業しようとする隊員に対し、起業等支援補助金を交付した。

③ 地域活動団体による住民自治協議会等のサポート、連携の促進

(35,674 千円)

まちづくりの多様な担い手の活動を維持し、発展させていくため、地域活動団体による住民自治協議会等のサポートや連携を促進した。

ア 市民協働センターの管理運営（うち 5,483 千円）

「市民と市民」、「市民と行政」の協働の拠点として、市民活動や担い手の交流・ネットワーク作りを支援し、市民協働のまちづくりを推進した。

【拡】イ 市民協働のまちづくりを推進する人材の配置（うち 16,933 千円）

市民協働センター専門員及び協働支援員を配置し、住民自治協議会や市民活動団体の活動の支援や連携のコーディネート等を支援した。

(新たな取組の事例)

- ・ 「防災×高齢者福祉」「環境×子育て支援」「国際交流×スポーツ」等、異業種の市民団体とのマッチングによる新たな市民活動の創出
- ・ 異なる複数の専門性を持ったマネージャーの育成（ユティリティーマネージャーの育成）
- ・ 複数の住民自治協議会による連携した市民活動や、事業の共同化等に対する支援 等

ウ 広島大学の学生を対象とした「まちづくり実践講座」の開講

(うち 1,048 千円)

まちづくりの核となる学生の養成に向けて、広島大学と連携し、広島大学の1～2年生を対象に、座学とフィールドワークによる集中講座（授業）を開講した。



フィールドワーク



成果発表

エ 「学生協働支援隊」による地域おこしのきっかけづくり

(うち 10,246 千円)

住民自治協議会のまちづくりに学生の力を活かすために結成した学生協働支援隊により、地域おこしのきっかけづくりに取り組んだ。



自治協連携事業（木谷×龍王）
カニカニ大調査



自治協支援事業（風早）
地域情報のデジタルマップ化

【新】オ 市民協働推進イベントの開催による市民活動の周知(うち 1,964 千円)

市民の方々が地域での活動を始めるきっかけをつくることを目的として、様々な市民活動を行っている団体やCSR活動を行っている企業に参加してもらう市民協働推進イベントを開催した。

④ 市民活動情報の共有の促進 (1,584 千円)

まちづくりの多様な担い手による活動の情報発信や情報共有を支援し、地域でのつながりや愛着を持つきっかけづくりを推進した。

ア 市民活動情報サイトの運営 (うち 1,584 千円)

市民活動に係る情報サイトを引き続き運営することで、市民活動団体等の情報の発信・共有を促進した。



市民活動情報サイトすきかもトップページ

事業の概要				
戦略	1	住民自治協議会等の状況に応じた活動支援	予算 878,778 千円	決算 898,765 千円
事務事業	1-2	ふるさと寄附金運営事業	予算 594,665 千円	決算 645,011 千円
内容				
<p>1-2_ふるさと寄附金制度の活用</p> <p>地域活動の財源確保のため、ふるさと寄附金制度を運営し、活用を図った。</p> <p>① 専門サイトの活用及び返礼品の拡充（645,011 千円）</p> <p>利用者の多いふるさと寄附金運営サイト「さとふる」「Amazonふるさと納税」を新たに追加し、全国の寄附者が寄附しやすい環境を整えるとともに、サイトに掲載する返礼品の拡充（三輪車両やゴルフシャフト）やクラウドファンディングの活用を通して、財源確保や本市特産品のPR、魅力の発信等を図った。</p>				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>				
追加した返礼品（一例）				

事業の概要						
戦略	2	活動拠点の充実	予算	814,307千円	決算	707,051千円
事務事業	2-1	地域活動拠点整備事業	予算	698,297千円	決算	621,910千円
内容						

2-1_地域活動拠点の整備

市民協働のまちづくりを推進するため、地域センター等を住民自治協議会及び生涯学習の活動拠点として整備・充実させるとともに、大規模改修により長寿命化を図った。

① 地域センター改修設計(19,950千円)

【新】ア 八本松地域センター等複合施設建築基本設計(うち 15,118千円)

公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化している八本松地域センターを八本松出張所等と複合化し、新たな地域活動の拠点として移転新設するため、基本設計を行った。



八本松地域センター等複合施設建設予定地

年度	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
基本設計	→					
実施設計				→		
建築工事					→	→
敷地造成 (区画整理事業)	→	→	→	→		

事業の概要

イ 造賀地域センター空調更新設計（うち 2,310 千円）

老朽化した造賀地域センターの空調設備の更新を実施することにより、センターの環境を改善し、利用者の利便性の向上を図るため、空調更新設計を行った。



造賀地域センター

年度	R 6	R 7	工事概要
設 計	→		R 6 事業内容：空調更新設計
工 事		→	

ウ 入野地域センター大規模改修設計（うち 2,522 千円）

地域センター改修計画において改修の優先度が高い入野地域センターについて、長寿命化のための大規模改修（外壁改修、塗装改修、玄関庇改修、内部改修、照明 LED 化、空調機改修）の設計を行った。



入野地域センター

年度	R 6	R 7	R 8	工事概要
設 計	→			R 6 事業内容：改修設計
工 事		→	→	

事業の概要

② 地域センター等の整備・改修 (601,942 千円)

ア 地域センター駐車場整備用地取得及び造成設計 (うち 18,702 千円)

駐車場が不足している東志和地域センターについて、用地測量、設計及び用地取得を行った。



東志和地域センター

年度	R 6	R 7	工事概要
測量 設計 用地取得	→		R 6 事業内容：測量・設計・用地取得
工事		→	

イ 高屋西地域センター等複合施設造成工事及び建築工事

(うち 558,717 千円)

公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化している高屋西地域センターを高屋中央保育所と複合化し、新たな地域活動の拠点として移転新設するため、造成工事を行い、建築工事に着手した。



高屋西地域センター等複合施設建設パース図

事業の概要

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	事業概要
用地取得	→				R 6 事業内容：造成工事、 建築工事
造成設計	→				
建築設計		→			
造成工事			→		
建築工事				→	

【拡】ウ 環境に配慮した地域センターの管理運営（うち 23,482 千円）

(7) 地域センターの空調更新（うち 23,221 千円）

老朽化した地域センターの空調設備の更新について、ESCO 事業を活用して実施することにより、センターの環境を改善し、利用者の利便性の向上を図った。

【R 6 年度導入施設】

寺西地域センター、三永地域センター、板城地域センター

【R 5 年度導入施設】

郷田地域センター、平岩地域センター、高屋東地域センター

(i) 地域センターの照明LED化（うち 261 千円）

地域センターの環境を改善するため、リース方式により照明のLED化を行った地域センターに係るリース料の支払いを行った。

【R 5 年度導入施設】川上地域センター

エ 地域センターの修繕等（うち 1,041 千円）

地域活動拠点の整備に関連する外構設備等の修繕を行った。

事業の概要																												
戦略	2	活動拠点の充実	予算 814,307 千円	決算 707,051 千円																								
事務事業	2-2	コミュニティ推進事業	予算 116,010 千円	決算 85,141 千円																								
内容																												
2-2_コミュニティの推進																												
<p>住民主体によるコミュニティ活動を支援するため、その活動拠点となる集会施設の整備や集会施設を管理する自治会、住民自治協議会、住民組織等に対して、整備に関連する補助等を行うことにより、地域におけるコミュニティづくりを推進した。</p>																												
① 市有集会施設等の整備及び維持管理（65,818 千円）																												
政策的に市が設立し、継続して保有する集会所の改修及び施設の修繕、維持管理等を行った。																												
【令和6年度事業の主なもの】																												
○下三永集会所改修工事(28,142 千円)																												
○前長沢集会所改修工事(31,739 千円)																												
																												
		下三永集会所	前長沢集会所																									
② 集会施設整備費の補助（13,023 千円）																												
ア 住民組織自らが行う集会施設の整備（新築・改築・修繕等）に対する補助金交付																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象</th> <th>件数</th> <th>補助率</th> <th>限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改築</td> <td>7</td> <td>1/2</td> <td>650 万円</td> </tr> <tr> <td>修繕</td> <td>18</td> <td>1/2</td> <td>50 万円</td> </tr> </tbody> </table>					補助対象	件数	補助率	限度額	改築	7	1/2	650 万円	修繕	18	1/2	50 万円												
補助対象	件数	補助率	限度額																									
改築	7	1/2	650 万円																									
修繕	18	1/2	50 万円																									
イ 集会施設の適正配置を進めるための譲渡集会施設の整備（改築・修繕等）に対する補助金交付																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象</th> <th>件数</th> <th>補助率</th> <th>限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改築</td> <td>1</td> <td>3/4</td> <td>650 万円</td> </tr> <tr> <td>修繕</td> <td>0</td> <td>10/10</td> <td>100 万円</td> </tr> <tr> <td>解体</td> <td>0</td> <td>10/10</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>下水道接続</td> <td>0</td> <td>10/10</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>登記</td> <td>0</td> <td>10/10</td> <td>全額</td> </tr> </tbody> </table>					補助対象	件数	補助率	限度額	改築	1	3/4	650 万円	修繕	0	10/10	100 万円	解体	0	10/10	全額	下水道接続	0	10/10	全額	登記	0	10/10	全額
補助対象	件数	補助率	限度額																									
改築	1	3/4	650 万円																									
修繕	0	10/10	100 万円																									
解体	0	10/10	全額																									
下水道接続	0	10/10	全額																									
登記	0	10/10	全額																									

事業の概要

③ 一般コミュニティ助成事業（6,300 千円）

（財）自治総合センターが宝くじの普及・広報の一環として実施している一般コミュニティ助成事業を活用して、住民自治協議会に対し、地域のイベントや日常の活動に必要な資器材・備品等の購入費を助成し、コミュニティ活動を推進した。（実績：3団体）

④ 地縁団体の設立支援及び認可

集会所等の不動産を所有することとなる自治会等に対し、地縁団体の設立支援及び申請に基づく地縁団体の認可を行った。

令和 6 年度 目的別事業群総括管理（決算）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	6 多文化共生と国際化の推進
施策の将来の目標像	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生の社会が実現しています。		
施策の数値目標	指標	現状値(R1年度)	目標値(R6年度)
	「東広島市での暮らし」に満足している外国人市民の割合	84.7%	90.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 言語・文化等の違いによらない円滑な暮らしの実現	主管部局・所属	生活環境部 市民生活課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生社会の実現	現状	外国人：必要な情報を入手できない等により、生活に困り事がある人がいる 日本人：外国人市民が多く暮らすことに不安を感じている人がいる	
課題		仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
情報提供の充実や多言語対応、相談対応など外国人市民の生活支援	外国人市民の生活環境の充実		中	1
地域住民や同国出身者とのつながりの希薄さや、外国人市民の活躍の場の不足	外国人も共に活躍できる環境づくり		中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7		
(7) 外国人新規転入世帯に対する生活オリエンテーション実施率	33.0 (H30)		48.0	51.0	54.0	51.0 (R6)	%
			48.0	89.0		174.5%	
			100.0%	174.5%			
(4)	()	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率				()	
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	
R5年度		32,548		31,763		19,778千円
		8,915		7,871		
R6年度		39,184		38,571		
		12,460		14,662		

6 戦略を構成する事務事業

(単位：千円)

No.	款・項・目 事務事業名	所属	人役	R5 当初予算額	R6 当初予算額
				R5 決算額	R6 決算額
1-1	2・1・7 外国人市民受入体制等整備事業	市民生活課	1.58	22,744	23,245
				22,090	22,951
1-2	2・1・7 コミュニケーション支援事業	市民生活課	0.30	6,506	6,136
				6,491	6,129
1-3	2・1・7 国際化推進プラン推進事業	市民生活課	0.72	184	6,684
				68	6,373
2-1	2・1・7 外国人市民地域参画促進事業	市民生活課	0.50	3,114	3,119
				3,114	3,118
合計			3.10	32,548	39,184
				31,763	38,571

7 R6事業費の分析 (差額 = 「R6年度当初予算額」 - 「R6年度決算額」) ※決算額には繰越を含む。

差額	613千円	分析	無料の翻訳アプリ導入に伴う翻訳サービス利用料の削減及び委託業務の入札残が主な要因である。
----	-------	----	--

8 R6成果指標の分析 (成果指標の平均達成率)

平均達成率	174.5%	分析	消防訓練などの研修参加者へのオリエンテーションの実施により、多くの外国人に生活情報の周知を図ることができた。
-------	--------	----	--

9 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
妥当性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	外国人市民にとって必要な相談業務や日本語教室は年間を通じて実施し、生活環境の充実を図ることができた。
効率性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	事業の外部委託や関係団体、ボランティア等との連携により効率的に実施することができた。
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	外国人の労働者や留学生の受け入れ拡大を進める政府の方針により、本市においても外国人市民数は年々増加しており、過去最高を更新している。

10 総合評価

総合評価	A	<総評>
		新規外国人転入者が増加する中、多言語ホームページを充実することによって、外国人市民の情報アクセス向上並びに生活環境の充実を図ることができた。

11 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
<p>情報提供方法の工夫や多言語対応、相談対応など外国人市民の生活支援を継続的に実施する必要がある。 また、外国人市民が地域住民とつながり、ともに活躍できる環境づくりが必要である。</p>	<p>引き続き、生活に必要な情報の多言語対応や相談窓口の充実、外国人市民の地域参画の促進やコミュニティ形成に向けた取組みを進めることにより、多文化共生社会の実現を図る。</p>

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	6 多文化共生と国際化の推進	① 言語・文化等の違いによらない円滑な暮らしの実現

事業の概要					
戦略	1 外国人市民の生活環境の充実	予算	36,065 千円	決算	35,453 千円
事務事業	1-1 外国人市民受入体制等整備事業	予算	23,245 千円	決算	22,951 千円

内容

1-1_外国人市民の受入体制等の整備

外国人市民が個性と能力を発揮し、安心して快適に暮らすことができるようにするために、受入体制等を整えた。

① 相談体制の充実 (12,670 千円)

ア 外国人コミュニケーションコーナーの運営

コミュニケーションコーナーを開設し、多言語で生活相談に応じるほか、生活支援やイベント等各種情報を提供した。

(ア) 多言語による相談窓口の開設 (英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語)

相談時間	半日 ×回数	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日		日曜日	
		午前	午後												
英語	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
中国語	4	○		○									○	○	
ポルトガル語	2					○							○		
ベトナム語	2							○							○

(イ) 多言語による無料法律相談の実施 (全 5 回開催、相談件数 7 件)

(ウ) 海外の情報誌や書籍を閲覧できる情報コーナーの開設

(エ) 対象者の特性に応じたツールを活用した情報発信

facebook や HP 等による情報発信のほか、LINE、WeChat を活用し、外国人市民に必要な生活関連情報やイベント情報等を発信した。

- ・多言語広報メール配信 16 回、facebook 64 件、LINE 月 1~2 回、WeChat 週 1~2 回



(多言語による相談窓口)



(情報コーナー)

事業の概要

② 情報提供の充実 (8,775 千円)

ア 生活オリエンテーションの実施 (うち 467 千円)

新規転入の外国人へ必要な各種行政サービスや生活習慣、ルール等を説明するオリエンテーションを実施し、円滑な生活のスタートを支援した。

(ア) 転入手続き等来庁時のオリエンテーション (庁内窓口で随時実施)

(イ) 留学シーズンにおける大学等への出張オリエンテーション (随時実施)

(ウ) 事業所等への出張オリエンテーション (希望により随時実施)

(エ) 技能実習生の防災訓練研修でのオリエンテーション (全 8 回実施)

イ 相談機能の充実・行政資料等の多言語化の推進 (うち 8,116 千円)

行政国際化推進員の配置による窓口通訳、行政資料等の多言語化を推進した。(通年 1 名)

ウ 各種行政窓口等における多言語対応の充実 (うち 192 千円)

自動翻訳ツールの配備により多言語対応の充実を図り円滑なコミュニケーションを支援した。(15 台配備)

(iPad 配備所属) 管財課、市民税課、地域共生推進課、こども家庭課、保育課、青少年育成課、産業振興課、学事課、市民生活課 (5)

(ポケトーク配備所属) 市民課 (2)



(庁内窓口での生活オリエンテーション) (事業所での生活オリエンテーション)

③ 多様な人材の活躍支援 (1,506 千円)

ア 私費留学生等への支援

市内在住の私費留学生等に対し、奨学金等の経済的支援を行った。

・奨学金：4 名 (広島大学 3 名、HLA 日本語学校 1 名)

20 千円/月×12 ヶ月

・住居費助成：前期 8 名 (広島大学)、後期 8 名 (広島大学)

6 千円/月×6 ヶ月 (要件を満たさない月を除く)

事業の概要				
戦略	1	外国人市民の生活環境の充実	予算 36,065 千円	決算 35,453 千円
事務事業	1-2	コミュニケーション支援事業	予算 6,136 千円	決算 6,129 千円

内容

1-2_コミュニケーション支援

① 日本語教室等の開催 (6,106 千円)

ア にほんごきょうしつ東広島Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (各週2回)、漢字 (週1回)
(うち 3,956 千円)

日本語教師がレベルに応じて授業を実施する教室型の日本語教室を実施し、外国人市民が体系的に日本語を学べる環境を提供した。

イ にほんごわいわい (週1回・西条2クラス、八本松・黒瀬・安芸津各1クラス)
(うち 969 千円)

ボランティアとの会話をとおして、日本語習得を支援する交流型の日本語教室を実施し、日本語でのコミュニケーションの実践の場を提供した。

ウ One-to-Oneにほんご (随時)

ボランティアと外国人市民が1対1で日本語での会話をとおして、外国人市民の日本語習熟度を高めるとともに、相互の国際理解を深めた。

エ にほんごひろばU-18 (小学生向け週2回、中高生向け週2回)
(うち 1,181 千円)

外国人児童生徒を対象に、日本語学習や教科学習の支援及び居場所づくりに取り組んだ。



(にほんごきょうしつ東広島)



(にほんごわいわい)

② 「やさしい日本語」の普及促進 (23 千円)

ア 市職員への「やさしい日本語」研修の実施

窓口等での外国人市民とのコミュニケーションを円滑にするため、市職員を対象に、外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」の普及に向けた研修を実施した。

【活動指標】

実施回数：1回 ⇒ 1回

【成果・課題】

全庁に「やさしい日本語」を普及させるため、研修を実施した。外国人対応が特に多い課の職員に効果的に啓発するため、翻訳や通訳派遣を依頼した課は参加必須とした。今後も多国籍化する本市の外国人市民に対応するため、研修を継続して実施していく必要がある。

事業の概要				
戦略	1	外国人市民の生活環境の充実	予算 36,065 千円	決算 35,453 千円
事務事業	1-3	国際化推進プラン推進事業	予算 6,684 千円	決算 6,373 千円
内容				
<p>1-3_国際化推進プランの推進</p> <p>審議会を開催し、第3次国際化推進プランの取組に対する実施状況の検証等を行ったほか、第4次国際化推進プラン策定に向け、ワークショップやアンケート調査を行った。</p> <p>① 国際化推進プラン審議会の開催（166 千円） 現プランの検証や次期プラン策定に向けた審議会を開催した。</p> <p>② 次期プラン策定に係るワークショップの開催等（6,207 千円） 交流団体等の関係者や外国人市民を対象としたワークショップや関係団体へのヒアリング、外国人市民に対するアンケート調査を行い、次期プランの基礎資料とした。</p>				

事業の概要				
戦略	2	外国人も共に活躍できる環境づくり	予算 3,119 千円	決算 3,118 千円
事務事業	2-1	外国人市民地域参画促進事業	予算 3,119 千円	決算 3,118 千円
内容				
<p>2-1_外国人市民の地域参画の促進</p> <p>外国人市民が地域とつながることにより、安心して生活し、地域社会で活躍できるよう啓発を行った。</p> <p>① 地域活動への参加促進（2,901 千円）</p> <p>ア 多文化共生コーディネーターの配置 多文化共生コーディネーターを配置し、自治協議会等に対し多言語チラシの作成等、地域の国際交流を支援することで、外国人市民の地域活動への参加を促進させた。</p> <p>② 市民への意識啓発（217 千円）</p> <p>ア 「やさしい日本語」講座の実施（うち 217 千円） 外国人市民への災害時の支援充実を図るため「やさしい日本語」講座を実施した。</p> <p>【活動指標】 実施回数：2回 ⇒ 2回</p> <p>【成果・課題】</p> <p>警察署と市民団体を対象に講座を実施し、地域に暮らす外国人住民への災害時支援について意識啓発を行ったことで、受講者の業務及び日常生活等における外国人災害対応の一助となった。今後も外国人市民への災害時の支援を充実させるため、住民自治協議会等を中心に「やさしい日本語」の啓発を行っていく必要がある。</p>				

事業の概要

【拡】イ 多文化共生ヒント集の作成

地域の自治会や地域行事等を紹介する外国人市民向け啓発資料の作成のほか、外国人市民との交流ヒント集等を作成し、地域の多文化共生を支援した。

令和 6 年度 目的別事業群総括管理 (決算) シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	2 暮らしづくり	施策	6 多文化共生と国際化の推進
施策の将来の目標像	言語や文化の違いにかかわらず、外国人を含む全ての市民が、相互理解のもと、個性と能力を活かし、地域で共に活躍できる多文化共生の社会が実現しています。		
施策の数値目標	指標	現状値(R1年度)	目標値 (R6年度)
	「東広島市での暮らし」に満足している外国人市民の割合	84.7%	90.0%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 国際交流と相互理解の促進	主管部局・所属	生活環境部 市民生活課
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	友好都市・親善都市等との都市間交流や、地域に暮らす日本人・外国人市民の交流機会の創出により、市民の国際感覚の醸成と異文化理解の促進を図る	現状	外国人：交流したいと思っているが交流できていない人がいる、地域住民との交流がなく地域に溶け込めていない人がいる 日本人：外国人市民が多く暮らすことに不安を感じている人がいる	
課題	誰もが参加しやすい交流機会が少なく異文化理解が十分でない 交流を支える団体間のつながりが十分でない	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
		交流による異文化理解の促進	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R5	R6	R7		
(7) 多文化共生事業参加者数	3,027 (H30)	上段：目標値 中段：実績値 下段：達成率	3,500	3,600	3,700	3,600 (R6)	人
			1,998	1,102		30.6%	
			57.1%	30.6%			
(イ) 「東広島国際フェスタ」参加者数	2,400 (R3)		2,600	5,100	5,200	5,100 (R6)	人
			5,000	5,500		107.8%	
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R年度	当初予算額		決算額		人件費
		一般財源		一般財源		
R5年度		9,370		7,951		/
		1,684				
R6年度		8,550		7,391		7,656千円
		1,652		1,064		

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
2 暮らしづくり	6 多文化共生と国際化の推進	② 国際交流と相互理解の促進

事業の概要					
戦略	1 交流による異文化理解の促進	予算	8,550 千円	決算	7,391 千円
事務事業	1-1 国際交流推進事業	予算	7,132 千円	決算	7,391 千円

内容

1-1_国際交流の推進

外国人市民と日本人市民が相互理解のもと、共に市民として暮らす多文化共生のまちづくりを実現するために、多様な市民の交流を推進し、国際感覚の醸成と相互理解を深めた。

① 交流機会の創出と活動の支援 (6,657 千円)

ア 誰もが参加しやすい交流機会の創出 (うち 6,657 千円)

(7) 国際化推進協議会による交流事業 (東広島国際フェスタ、市民団体による国際交流活動補助等)

交流団体、学生、企業等様々な個人・団体と連携し、誰もが参加しやすい国際交流イベント等を開催した。また、多様な交流団体や個人が連携することで、相互協力の体制づくりやネットワークの充実を図り、国際交流活動の活性化に繋げた。

(イ) H I C と連携した多文化共生事業 (子ども英語村、東広島バスツアー、子育て交流会等)

※H I C = (公財) ひろしま国際センター

外国人市民、日本人市民の交流機会の提供を行うことにより、地域の国際化や国際理解を促進し、多文化共生を推進した。

(ウ) コミュニティの形成及び防災啓発のための交流機会の創出

広島大学「ミライクリエ」を活用し、外国人市民の国別コミュニティの形成や市民との交流を促進した。また、災害のない国から来日している外国人も多いことから、日本の災害や被害状況、災害情報の入手方法などについて啓発した。

イ 交流団体が実施する事業の情報発信等の支援

広報紙や国際化推進協議会の HP 等を活用し、随時、情報を多言語で発信した。



(ミライクリエでの交流)



(東広島国際フェスタ)

事業の概要

② 意識啓発、異文化理解の促進（597 千円）

ア 外国人市民への意識啓発、異文化理解の促進（うち 203 千円）

(7) 国際化推進協議会による交流事業（日本伝統文化講座等）

外国人市民を対象に書道、茶道等の日本文化紹介・体験の交流会を行い、異文化理解を促進した。

イ 日本人市民への意識啓発、異文化理解の促進（うち 394 千円）

(7) H I C等と連携した多文化共生事業（「やさしい日本語」講座）

異文化理解のきっかけづくりとして、日本人市民に対して、「やさしい日本語」講座等を実施して意識啓発を行った。

【活動指標】

実施回数：4回 ⇒ 6回

【成果・課題】

税務署職員、保育所職員、行政相談員、一般市民等を対象に講座を実施し、異文化理解を促進した。引き続き、外国人市民と接することが多い行政機関・団体・市民等へ講座を広報していく必要がある。

(イ) 徳陽市紹介事業

パネル展示等により、日本人市民に対して友好都市である中国徳陽市の紹介を行い、市民等が徳陽市について知る機会を提供した。

③ 交流を支える団体への支援及び人材の育成（137 千円）

ア 国際交流関係団体への支援（うち 80 千円）

イ 国際交流ボランティア登録促進及び研修会実施（うち 57 千円）

【活動指標】

実施回数：3回 ⇒ 3回

【成果・課題】

ボランティア講習会を開催し、国際交流ボランティア活動内容の紹介や外国人とのコミュニケーションのコツを学ぶ講習会を開催することでボランティアに初めて取り組む方の不安や疑問を取り除き、登録者の継続的な活動を促進した。

今後も市民レベルでの国際交流ボランティアを育成し、市民と共に多文化共生を推進していく必要がある。

団 体 名
東広島市国際化推進協議会
東広島市日中親善協会
東広島市日韓親善協会
広島ベトナム平和友好協会
広島アセアン協会

(主な関係交流団体)



(国際交流ボランティア研修会)

事業の概要									
戦略	1	交流による異文化理解の促進	予算	8,550 千円	決算	7,391 千円			
事務事業	1-2	都市間交流推進事業	予算	1,418 千円	決算	0 千円			
内容									
1-2_都市間交流の推進									
<p>友好都市である中国徳陽市からの定期訪問団受入れを検討したが、来日が延期となった。</p> <p>① 中国徳陽市からの定期訪問団等の受入れ（0 千円）</p> <table border="1"> <tr> <td>友好提携日</td> <td>1993 年（平成 5 年）10 月 14 日</td> </tr> <tr> <td>近年の交流状況</td> <td> <p>■ 東広島市→徳陽市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年（平成 30 年）10 月 30 日～11 月 2 日 高垣市長ほか定期訪問団（通訳含む 7 名）を徳陽市へ派遣。 <p>■ 徳陽市→東広島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年（令和元年）に来日予定であったが、新型コロナウイルスの影響等により延期。 <p>※定期訪問団については、友好提携年（1993 年）を基準とし、互いに 5 年毎に派遣。</p> </td> </tr> </table>						友好提携日	1993 年（平成 5 年）10 月 14 日	近年の交流状況	<p>■ 東広島市→徳陽市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年（平成 30 年）10 月 30 日～11 月 2 日 高垣市長ほか定期訪問団（通訳含む 7 名）を徳陽市へ派遣。 <p>■ 徳陽市→東広島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年（令和元年）に来日予定であったが、新型コロナウイルスの影響等により延期。 <p>※定期訪問団については、友好提携年（1993 年）を基準とし、互いに 5 年毎に派遣。</p>
友好提携日	1993 年（平成 5 年）10 月 14 日								
近年の交流状況	<p>■ 東広島市→徳陽市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年（平成 30 年）10 月 30 日～11 月 2 日 高垣市長ほか定期訪問団（通訳含む 7 名）を徳陽市へ派遣。 <p>■ 徳陽市→東広島市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2019 年（令和元年）に来日予定であったが、新型コロナウイルスの影響等により延期。 <p>※定期訪問団については、友好提携年（1993 年）を基準とし、互いに 5 年毎に派遣。</p>								

令和6年度 分野別基盤事業（決算）シート

まちづくり大綱

2 暮らしづくり

内容

<総務部（DX推進担当分）>

(1) 地域情報化の推進（126,920千円）【2款1項8目】

① 情報通信基盤の整備（うち124,094千円）

ア 通信・放送サービスを提供するための引込線の敷設

市が整備・所有する情報通信基盤（光ファイバーケーブル網）を用いて 公設民営方式により提供するインターネット接続サービス又はケーブルテレビ視聴サービスについて、サービス利用契約者に対してサービスが利用できる環境を提供した。

イ 情報通信基盤の保守等

情報通信基盤の修繕、支障移転などの保守・維持管理を行った。

② 公衆無線LANの運営（うち2,826千円）

ア 東広島フリーWi-Fiの運営

公共施設に公衆無線LAN機器を設置し、施設利用者が手軽にインターネットを利用できる環境を提供した。

<地域振興部>

(1) 地域センター等の管理運営（343,686千円）【2款1項9目】

① 地域センター及び地区拠点施設の維持管理（うち86,484千円）

市内37地域センター（うち直営は8施設）及び11地区拠点施設の維持管理を行った。

② 地域センター職員の配置（うち51,494千円）

地域センターの管理運営、住民自治協議会事務の補助及び生涯学習活動を行う職員（センター長、事務職員、事務補助員）を配置した。

③ 地域センターの指定管理（うち205,708千円）

地域センターでの活動をより活発なものとするため、地域の状況に応じた運営ができるよう地域センターを指定管理者制度により運営した。（令和6年度：29施設）

<生活環境部>

(1) 生業資金等債権の管理（1千円）【3款1項6目】

① 債権の回収・管理

生業資金等貸付金の債務者（連帯保証人、相続人含む）に対して、電話等での納付指導を行うとともに、訪問や口座振替等による債権回収及び債権管理を行った。

(2) 人権センターの管理運営（41,236千円）【3款1項6目】

① 人権センターの管理運営（うち39,665千円）

内容

市民の福祉向上や人権啓発推進の拠点となる市内4か所の人権センターの維持管理を行った。

② 交流促進講座等の開催（うち 1,571 千円）

市民相互の交流によって本市に生きることが誇りに持てる地域社会づくりに資するため、地域ニーズに即した各種教養・文化活動の講座等を開催した。

(3) 衛生施設浸水等の対応（0 千円）【4 款 1 項 1 目】

① 衛生施設浸水への見舞金（うち 0 千円）

豪雨等の自然災害により、家屋において床上浸水又は床下浸水の被害を受けた世帯に対し、市民の福祉と生活の安定に資するため、浸水見舞金を交付することとしていたが、衛生施設への被害の報告はなかった。

② 衛生施設流入土砂等の撤去（うち 0 千円）

災害救助法適用時において、災害により衛生施設に土砂等が流入した世帯に対し、衛生施設の早期復旧と生活の安定に資するため、流入した土砂等の撤去を行うこととしていたが、被害の報告はなかった。

(4) 斎場の適切な管理運営（156,543 千円）【4 款 1 項 4 目】

① 斎場（5 か所）の管理運営、火葬業務

斎場 5 か所（ひがしひろしま聖苑、黒瀬斎場、豊浄苑、河内斎場、安芸津斎場）の維持管理等を行った。

・黒瀬斎場火葬炉設備修繕 20,570 千円 等

(5) 市営墓地（ひがしひろしま墓園を除く）の貸付、維持管理

（1,631 千円）【4 款 1 項 4 目】

① 市営墓地（5 か所）の管理運営

ひがしひろしま墓園を除く旧町から引き継いだ墓園 5 か所（金口墓園、陰地墓園、中屋谷第 1 墓園、中屋谷第 2 墓園、下河内墓園）の維持管理等を行った。

(6) 特定地域生活排水処理事業特別会計への繰出金

（3,591 千円）【4 款 1 項 4 目】

① 特定地域生活排水処理施設の管理運営費への繰出金

市（旧河内町）が設置した小型浄化槽を適切に維持管理するため、使用料収入では賄えない部分に対し、一般会計から繰出しを行った。

(7) 生活衛生事業の推進（217 千円）【4 款 1 項 4 目】

① 生活衛生関係営業施設等に関する事務

生活衛生営業六法関係施設、墓地、専用水道や簡易専用水道、特定建築物や化製場等に関する手続き等の事務を行うとともに、各施設への立入監視指導や報告聴取によって、適切な衛生管理が行われるよう指導を行った。

内容

広島県からの権限移譲事務	登録数等	新規	廃止	監視指導等
理容師法関係（理容所数）	138	1	5	26
美容師法関係（美容所数）	340	16	11	87
旅館業法関係（旅館営業所数）	43	1	2	3
公衆浴場法関係（公衆浴場数）	19	0	0	7
クリーニング業法関係（クリーニング所数）	59	1	1	0
興行場法関係（興行場営業施設）	7	0	0	0
コインオペレーションクリーニング営業施設の衛生措置等指導要綱関係（コインランドリー営業所数）	51	3	1	3
水道法関係等（専用水道、簡易専用水道、小規模水道施設、小規模貯水槽水道数）	828	6	7	241
建築物における衛生的環境の確保に関する法律関係（特定建築物設置数）	55	0	0	0
温泉法関係（温泉数）	7	0	0	0
墓地、埋葬等に関する法律関係（墓地経営許可数）	8,455	14	4	14
浄化槽法関係（浄化槽設置数）	25,050	469	109	2
有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律関係（有害物質を含有する家庭用品製造販売等の調査検体数）	6	-	-	-
化製場等に関する法律関係（化製場、死亡獣畜取扱場、動物飼養収容施設数）	3	1	0	5

（令和7年3月31日時点）

(8) 広島県水道広域連合企業団への負担金（482,509千円）【4款1項4目】

① 広島県水道広域連合企業団への負担金

本市及び広島県等、1県9市5町が水道事業等を共同で経営することを目的に設立した、広島県水道広域連合企業団の東広島事務所に対し、繰出基準等に基づき負担した。

(9) 清掃管理（466千円）【4款2項1目】

廃棄物の処理及び清掃に係る許認可等事務、関係機関との連絡調整等を行った。

(10) 広島中央環境衛生組合への負担金（2,467,187千円）【4款2項1目】

① 広島中央環境衛生組合の運営等経費への負担金

本市、竹原市及び大崎上島町の2市1町が一般廃棄物の広域処理を行うために設置した、広島中央環境衛生組合の運営費等を負担した。

(11) ひがしひろしま墓園の貸付、維持管理（8,271千円）【1款1項1目】

（ひがしひろしま墓園管理事業特別会計）

内容

- ① ひがしひろしま墓園の管理運営
ひがしひろしま墓園の維持管理等を行った。

<建設部>

(1) 地籍調査事業 (7,458 千円) 【6 款 1 項 5 目】

- ① 地籍調査の実施 (うち 6,880 千円)
国土調査法等の関係法令に基づき、安芸津町木谷の一部で調査等を行った。
ア 地籍図原図及び地籍簿案の作成 (0.04 km²)
イ 一筆地調査、一筆地測量等 (0.09 km²)

- 【新】② 地籍調査支援システムの導入 (うち 578 千円)
地籍調査業務のD X化を図った。

(2) 土木総務事務 (39,343 千円) 【8 款 1 項 1 目】

- ① 社会資本未来プランの策定 (うち 0 千円)
社会資本の整備に関する基本的な取組方針等を示す目的で、プランの策定を行った。

- 【新】② 建設D Xの推進 (うち 1,494 千円)
ドローン等の機器の整備

- ③ その他経費 (うち 37,849 千円)
会計年度任用職員の任用にかかる経費等。

(3) 土木施設管理事務 (106,255 千円) 【8 款 2 項 1 目】

- ① 駅前広場等施設の維持管理 (うち 25,225 千円)
西条駅等の自由通路及び駅前広場 (11 か所)、公衆トイレ (7 か所)、及び吉行横断地下道の維持管理を行った。
- ② 駅前広場等施設の修繕 (うち 1,935 千円)
自由通路及び駅前広場等を適切に維持するために必要な修繕を行った。
- ③ 道路・河川管理に係るデータ更新業務 (うち 16,147 千円)
道路河川の入力データ作成、認定道路の台帳整理及び更新を行った。
- ④ 団地内生活道路市道編入測量費補助 (うち 746 千円)
法規制前造成団地内道路の市道編入に必要な測量費等経費に対する補助を行った。
- ⑤ 道路河川維持作業 (うち 2,772 千円)
ア 道路賠償責任保険に加入した。
- ⑥ その他経費 (うち 59,430 千円)
公共土木施設の管理に係る経費

※「駐車場管理運営事業」は分野別基盤事業 2 暮らしづくり <都市交通部>へ移管。

(4) 電源立地地域の対策 (4,846 千円) 【8 款 2 項 2 目】

内容

棕梨川水力発電所設置による減水区間地域の環境激変緩和のため、対策を行った。

① 道路修繕に係る工事（うち 4,826 千円）

9 の組 10 の組線道路舗装修繕工事を行った。

② その他経費（うち 20 千円）

電源立地地域対策交付金事業に必要な経費。

(5) 市営住宅等の管理・運営（107,667 千円）【8 款 6 項 1 目】

※分野別基盤事業 2 暮らしづくり <都市交通部>（3）から移管。

① 施設の維持修繕（うち 79,878 千円）

指定管理者制度を活用し、市営住宅の維持修繕を行った。

② 市営住宅に係る経常経費（うち 15,361 千円）

市営住宅の土地賃借料及び光熱水費等

③ 住宅使用料等の滞納整理（うち 1,492 千円）

滞納家賃の督促及び臨戸訪問等により滞納整理を行った。

④ 入居者情報管理（うち 330 千円）

住宅システムの保守等に係る経費

⑤ 市営住宅の修繕（うち 1,632 千円）

市営住宅の家屋等小修繕料

⑥ 市営住宅からの移転補償金（うち 547 千円）

老朽化した市営住宅からの移転補償金

⑦ その他事務（うち 8,427 千円）

市営住宅管理の必要経費（会計年度任用職員報酬、消耗品費、役務費等）

<都市交通部>

(1) 開発指導事務の適正かつ効率的な実施（5,287 千円）【8 款 5 項 1 目】

① 都市計画法に基づく許可・検査及び指導を行った。

② 宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく許可・検査及び指導を行った。

③ 国土利用計画法及び公有地の拡大の推進に関する法律の事務処理を行った。

④ 開発許可図面の電子化（うち 0 千円）

当初、委託により予定していたが職員により行った。

(2) 安全・安心な憩いの場となる公園の維持（588,827 千円）【8 款 5 項 4 目】

安全・安心な憩いの場となる公園を維持するため、施設の管理や修繕・更新などを行った。

① 東広島運動公園、憩いの森公園の指定管理（うち 276,743 千円）

② 樹木育成管理（うち 84,340 千円）

③ 清掃等管理（うち 163,028 千円）

④ 施設の修繕・更新（うち 60,236 千円）

※「市営住宅等の管理・運営」は分野別基盤事業 2 暮らしづくり <建設部>へ移管。

内容

(3) 駐車場管理運営事業 (164,615 千円) 【8 款 2 項 1 目】

※分野別基盤事業 2 暮らしづくり <建設部> (3) から移管。

① 施設の管理運営 (うち 91,648 千円)

市内の無料自転車駐車場 (20 施設) の清掃、管理及び有料自転車駐車場 (5 施設)・有料駐車場 (9 施設) の管理を行った。

② 駐車場等の修繕 (うち 2,474 千円)

各駐車場の修繕を行った。

③ 駐車場施設の使用料 (うち 61,184 千円)

西条岡町駐車場リース料。

④ 自転車駐車場敷地の借地料 (うち 3,396 千円)

西条、白市、西高屋各駅前自転車駐車場 (4 施設) の借地料。

【新】⑤ 駐車場・自転車駐車場の民間を活用の検討

検討の結果、有料駐車場 (9 施設) を民間活用に移行し、有料自転車駐車場 (5 施設) は市の管理とした。

⑥ 西条駅前第 1 自転車駐車場再設計業務 (うち 3,419 千円)

西条駅前第 1 自転車駐車場の再設計業務を行った。

⑦ 放置自転車等の撤去・保管 (うち 1,602 千円)

市内の放置禁止区域内の放置自転車等及び自転車駐車場内の長期放置自転車等の撤去や保管及び返還を行った。

⑧ その他経費 (うち 892 千円)

駐輪場管理運営事業に必要な経費。

